

2017年度

事業報告

自 2017年4月 1日
至 2018年3月31日

目 次

	(頁)
第1 概要	1
第2 事業の状況	
1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2. 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業	5
3. 「科学知識の普及・啓発」事業	8
第3 会議等	11

[別 表]

(1) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表 (一般科学研究)	14
(2) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表 (実践研究)	25
(3) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表 (海洋・船舶科学研究)	27
(4) 2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表	30
(5) 2016年度笹川科学研究助成 奨励賞受賞者一覧表	36
(6) 2017年度教育・研究図書有効活用プロジェクト 図書寄贈実績表	37
(7) 2017年度立方体地球 出前講義開催一覧表	38
(8) 2017年度サイエンスメンター事業 研究一覧表	39
(9) 役員名簿	40
(10) 評議員名簿	41

第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。しかしながら、科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。また、中国への図書の寄贈を通じた文化交流については、高まる日本関係図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、国家間の問題を超えて、着実な進展を見せている。

2017年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2017年度笹川科学研究助成は、324件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の成果を社会にアピールするため、成果発表会を開催し、学術成果の広範な浸透・普及の促進を図った。

2. 日本で収集した教育・研究図書を中国の大学・研究機関に約6万冊の日本関係図書を寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方の「作文コンクール」「日本知識大会」を実施することにより、日本と中国における相互理解の促進と友好意識の醸成を目指した。

3. Webサイトの科学実験データベースのコンテンツの追加、科学映像作品を教育現場で活用するための出前講義等の実施、広く一般に生命科学の基礎知識を身に付けてもらうためのテキストの制作、経験豊かな科学者による高校生への研究指導（メンター）事業の実施、若手研究者の資質を向上させるための科学と宗教、科学と倫理に関する研究会の開催を通じて、広く科学知識の普及・啓発に努めた。

第2 事業の状況

1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：238,288,867円（間接経費除く）】

本事業は、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施したものである。

(1) 内容

① 若手研究者の研究奨励

ア. 一般科学研究助成

(ア) 名称：笹川科学研究助成

(イ) 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）

(ウ) 助成件数：244件 ※ 研究中止3件を含む

人文・社会系	34件	数物・工学系	32件	化学系	44件
生物系	92件	複合系	42件		

[別表(1) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表(一般科学研究)]

(エ) 助成金額：153,945,430円（1件当たり平均金額630,924円）

(オ) 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者（外国人留学生を含む）

② 特定分野の研究奨励

ア. 実践研究助成

(ア) 名称：笹川科学研究助成

(イ) 対象領域：

a. 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究

学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究

b. 学芸員・司書等が行う調査・研究

学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究

(ウ) 助成件数：30件

[別表(2) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表(実践研究)]

(エ) 助成金額：9,664,044円（1件当たり平均金額322,135円）

(オ) 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

イ. 海洋・船舶科学研究助成

(ア) 名称：笹川科学研究助成

(イ) 対象領域：「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」で、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究（人文・社会科学を含む）

(ウ) 助成件数：50件

[別表(3) 2017年度笹川科学研究助成 助成対象者一覧表(海洋・船舶科学研究)]

(エ) 助成金額: 34,732,965円(1件当たり平均金額694,659円)

(オ) 申請資格: 大学院生あるいは大学等の所属機関で研究活動に従事する者であって、35歳以下の者(外国人留学生を含む)

③ 研究成果公表支援

ア. 海外発表助成

(ア) 名称: 海外発表促進助成

(イ) 申請資格: 笹川科学研究助成を受けた者

(ウ) 実施内容:

a. 2017年度「海外発表促進助成」

i. 助成件数: 68件

[別表(4) 2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表]

ii. 助成金額: 14,938,531円(1件当たり平均金額219,684円)

b. 2018年度「海外発表促進助成」の募集案内および第1期助成計画策定

④ 「笹川科学研究奨励賞」受賞研究発表会の開催

2016年度笹川科学研究助成者の各領域2名を笹川科学研究奨励賞の受賞者として選出し、2017年4月21日(金)にANAインターコンチネンタルホテル東京において研究成果の発表会を、笹川スポーツ財団と合同で開催した。

[別表(5) 2016年度笹川科学研究助成 奨励賞受賞者一覧表]

⑤ 「研究奨励の会」「研究者交流会」の開催

2017年4月21日(金)にANAインターコンチネンタルホテル東京において、「研究奨励の会」を笹川スポーツ財団と合同で開催し、2017年度笹川科学研究助成の交付決定通知書を手交した。また、研究者間の情報交換の場として「研究者交流会」を開催した。



⑥ 研究助成の推進

ア. 2018年度笹川科学研究助成計画原案の作成

(ア) 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会において、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。

(イ) 公募

大学、研究機関、学会等約700箇所および博物館、図書館等約600箇所に募集のためのメール配信を行い、広く周知した。

a. 募集期間

2017年9月15日～2017年10月16日

b. 応募件数 1,257 件の研究計画の申請を受付した。

一般科学研究 1,049 件、実践研究 65 件、海洋・船舶科学研究 143 件

c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2018年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

イ. 2016年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

ウ. 研究助成実績資料の整備

⑦ 笹川科学研究助成プロジェクト報告書の作成

笹川科学研究助成制度 30 年を振り返り、本研究助成制度の変遷や過去の実績等の資料をもとに整理し、研究助成制度の特徴とその社会貢献、並びにそれらを踏まえた今後の発展の方向について助成制度関係者が解説し、若手研究者をはじめとして関心のある人たち、助成事業関係者等に広く伝え、笹川科学研究助成へのさらなる理解と関心を高めてもらうことを目的とした、笹川科学研究助成プロジェクト報告書を作成した。



(2) 事業成果

① 若手研究者の研究奨励（一般科学研究助成）

他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成を行い、若手研究者の育成をすることにより、科学研究の振興を図った。

自然科学のみならず人文・社会科学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し研究向上への契機とその意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に大きく貢献した。

② 特定分野の研究奨励

ア. 実践研究助成

研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展に貢献した。

イ. 海洋・船舶科学研究助成

人文科学から工学まで海洋・船舶関係全般にわたる科学研究で、他から研究助成が受け難い優れた研究者とその研究を全国的に掘り起こし、笹川科学研究助成を行い、研究者の育成をすることにより、海洋科学の振興を図った。

③ 研究成果公表支援

笹川科学研究助成を受けた研究者の研究活動を国際的に広めることを促し、その成果を社会に普及させるため、研究発表を支援するものである。学術成果の広範な浸透及び普及の促進に貢献した。

2. 「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」事業

【事業経費：66,145,843円（間接経費除く）】

本事業は、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施したものである。

(1) 内 容

① 図書の寄贈・収集

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学・研究機関、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮して策定した「図書寄贈方針」に基づき各大学・研究機関への寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。

ア. 図書収集冊数：約153,000冊（提供件数：延べ277件）

イ. 図書寄贈冊数：63,671冊

[別表（6）2017年度教育・研究図書有効活用プロジェクト 図書寄贈実績表]

② 「笹川杯全国大学日本知識大会」の開催

中国の若者の対日理解・関心の深化、寄贈図書の活用促進、日本語教育の振興を目的に、中国の大学の日本語学習者を対象として、日本知識を日本語で競う大会を開催した。

ア. 開催日：2017年12月9日（予選）、10日（決勝戦）

イ. 場 所：上海交通大学閔行校区 李政道図書館「李政道報告庁」等

ウ. 参加者：参加116大学（選手各3名/合計348名）

エ. 列席者：約450名

オ. 結 果：

(ア) 団体戦

a. 特等賞 重慶三峡学院

b. 一等賞 上海交通大学、大連大学

c. 二等賞 四川外国語大学、安徽新華学院、遼寧師範大学、信息工程大学（洛陽校区）、黄岡師範学院、中央財經大学

※成績上位3大学及び開催大学は日本招聘。

(イ) 個人戦 優勝：1名、二等賞：2名、三等賞：3名

※優勝～三等賞受賞者は、副賞として日本招聘（団体戦との重複受賞等による繰上げ招聘あり）



③ 「笹川杯作文コンクール」の開催

中国の若者の対日関心の喚起と対日理解の促進を目的に、人民中国雑誌社との共催により、中国全土の若者を対象として“日本”をテーマに日本語で応募する作文コンクールを開催した。

ア. 実施機関：人民中国雑誌社（作文の募集、審査、広報等）

イ. テーマ：「わたしと日本」、「未来の中日関係に向けて」

ウ. 対象：16歳～45歳の中国人

エ. 応募総数：1,267点

オ. 審査結果：優勝4点（副賞：日本招聘）、二等賞2点、三等賞4点、優秀賞10点

④ 「“本を味わい日本を知る”作文コンクール」の開催

図書による日本理解の深化と寄贈図書の活用促進を目的に、上海交通大学図書館との共催により、中国全国の大学の学生を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを開催した。

ア. 実施機関：上海交通大学図書館（作文の募集、審査、広報等）

イ. 対象：中国全国の大学生、大学院生

ウ. 応募総数：1,429点

エ. 審査結果：優勝2点（副賞：日本招聘）、二等賞10点

⑤ 「Panda杯全日本青年作文コンクール」の開催

日本の若者の対中関心の喚起と対中理解の促進を目的に、人民中国雑誌社、中国大使館との三者共催により、“中国”をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催した。

ア. 実施機関：人民中国雑誌社（作文の募集、審査、広報等）

イ. テーマ：「@Japan わたしと中国」

ウ. 対象：16歳～35歳の日本人

エ. 応募総数：498点

オ. 審査結果：優秀賞10点、入選5点、佳作39点

⑥ 中国訪問プログラムの実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「Panda杯作文コンクール」優秀賞者等に訪中の機会を提供し、現地の大学生との「討論会」、文化体験、訪問見学、中国外文局での授賞式など広範なプログラムを実施した。

ア. 実施時期：2017年10月17日～10月23日（7日間）

イ. 訪問先：北京市、南京市、上海市

ウ. 訪中者：優秀賞、入選、佳作受賞者、引率者等20名



⑦ 中国の大学生等の日本招聘プログラムの実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「日本知識大会」優勝者等、「笹川杯作文コンクール」、「“本を味わい日本を知る”作文コンクール」の優勝者等を招聘し、日本の若者等との意見交換、地域住民等との交流、文化体験、訪問見学など広範なプログラムを実施した。

ア. 実施時期：2018年2月28日～3月7日（8日間）

イ. 訪問先：東京都、沖縄県、滋賀県、京都府、大阪府

ウ. 招聘者：合計29名

（ア）「日本知識大会」関係者20名（学生18名、引率者2名）

（イ）「笹川杯作文コンクール」関係者5名（受賞者4名、引率者1名）

（ウ）「“本を味わい日本を知る”作文コンクール」優勝者4名

(2) 事業成果

日本国内で収集した図書の中国の大学への「図書寄贈」、中国の若者等を対象とした「日本知識大会」、「笹川杯作文コンクール」、「“本を味わい日本を知る”作文コンクール」、日本の若者を対象とした「Panda杯作文コンクール」など広範な事業展開を通じて、日中相互理解と友好交流の促進、日本語教育の振興に貢献すると同時に、国際人材の育成に寄与することができた。

また、国際貢献事業として本プロジェクトに対する社会的な共感が得られ、個人・企業からの寄付金、出版社からの図書提供等を獲得することができた。

さらに、各事業の成績優秀者等を対象に実施した「日本招聘」或いは「中国訪問」を通じて、日中の若者に直接交流する機会を提供することにより、中国の若者の対日理解、日本の若者の対中理解の促進、日中友好の深化に寄与することができた。

3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：37,714,587円（間接経費除く）】

(1) 内 容

① 科学実験データベースの公開

広く世界で活用されている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースをWebサイト上で広く公開した。

ア. 委託先:兵庫教育大学原体験教育研究会

イ. 内 容

(ア) 新規データの入力と従来のデータの見直し

(イ) 検索ワードの追加

(ウ) 動画の追加

(エ) 関連実験のリンクの作成

② 地球科学の理解促進

「もしも地球が立方体だったら、地球表面の環境はどのように変わるか」ということを科学的に予測した短編映像を用いた出前講義やサイエンスカフェ等を行った。

ア. 開催件数：15件

イ. 対 象 者：小学生高学年～高校生、市民等

ウ. 参加人数：1,479名

エ. 講 師：気象学者等



[別表(7) 2017年度立方体地球 出前講義開催一覧表]

③ 高校生のためのサイエンスメンター事業

科学好きな理系高校生の課題研究に対し、その分野の専門家等から学校教育の枠にとらわれない研究指導を行った。

ア. 件 数：17組17名

[別表(8) 2017年度サイエンスメンター事業 研究一覧表]

イ. 指導方法：メールを主とし、必要に応じて実地指導や電話・Skypeで指導を行う。

ウ. 内 容：2017年9月から7か月間、研究を行い、2018年3月29～30日にサイエンスメンターワークショップを開催した。なお、今期決定者は2018年8月まで研究を継続予定。

④ 生命科学テキスト「人間の生命科学—現代社会に生きるための基礎知識—」の制作

本テキストは、若い学生たちや広く一般に、生命科学の基礎知識を身につけてもらうことを目的に、人間の生命や医療、生活、社会と関わる公益生命学の視点から「人間は社会の中で生きる生命である」というコンセプトのもと、大学等教育機関

で活用する新しい教材を制作した。2017年度は、第2ステージとして電子テキスト（ePUB）の改訂チームを編成し、第一期改訂を終え、合わせてWeb版を制作した。また、放送大学山形学習支援センターでの本会会長による講演会「生命科学与社会」において本テキストを活用するとともに、慶應義塾大学の文科系数名の先生により、テキストの一部を利用するトライアル授業を実施した。

⑤ 科学隣接領域の研究

自然科学の枠を超えた領域の専門家が集まり、宗教、倫理、アートを切り口に科学研究や研究者について議論と考察を重ね、今後の研究助成のあり方や若手研究者の育成について討議したアウトプットとして、講演会・出版などを通して、研究者自身の専門分野の研究のみならず、バランス感覚と国際的な視野を持った若手研究者の育成に資する。

ア. セミナーの実施

昨年度から「科学と宗教」について研究会を開催し、議論と考察を重ねたアウトプットとして、研究者に向けたセミナーを開催した。

(ア) セミナー名：「木魂する科学とところ～科学と文化の交差点～」

(イ) 開催日時：2017年7月2日（日）13:00～18:30

(ウ) 参加者：121名（研究者、学生、その他社会人等）

イ. 出版の準備

ア. で開催したセミナーでの内容を中心に、新たに3名の招待寄稿を加え、研究会のアウトプット第2弾として総勢11名の研究者による出版の準備を進めた。（出版予定2018年4月25日）

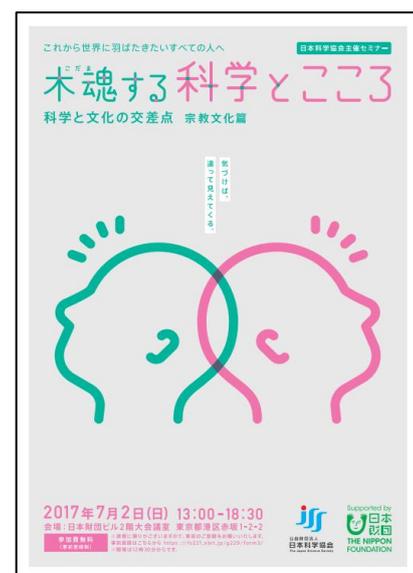
ウ. 研究会の開催

(ア) テーマ：「科学と倫理」

(イ) 開催回数：5回（2017年4月、8月、10月、11月、2018年1月）

(ウ) 内容：研究者倫理・似非科学・宇宙倫理・ロボット倫理

(エ) 参加者：研究会メンバー、外部講師、研究助成過去助成者



(2) 事業成果

高度化・複雑化する科学・技術について、「科学実験のデータベース」のWeb公開、科学映像「もしも地球が立方体だったら」を活用した出前講義等の実施により、「誰でも楽しめる科学」を一般に広く伝えた。

また、学校教育の枠を超え、専門家（メンター）による科学の指導を行うサイエンスメンター事業の実施や、研究者に必要な哲学・倫理を研究する科学隣接研究会の開催等を通じて、次代の科学者の育成及び若手研究者の資質向上に努めた。

さらに、基礎知識としての生命科学を、若者や一般に広く身に付けてもらうため

の生命科学のテキストを制作した。今後はトライアル授業等を実施し、利用の拡大を図る。

第3 会議等

1. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第17回) 2017年6月7日	1. 2016年度事業報告及び決算報告書の承認に関する件 2. 第7回評議員会の開催に関する件	全会一致で承認又は可決
(第18回) 2017年6月28日	1. 常務理事（業務執行理事）の選定に関する件 2. 2017年度収支予算の変更に関する件	全会一致で可決
(第19回) 2018年3月16日	1. 2018年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 2. 2017年度収支予算の変更に関する件	全会一致で承認又は可決

役員の名簿については〔別表（9）〕のとおり

2. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第7回) 2017年6月27日	1. 2016年度決算報告書の承認に関する件 2. 定款の一部改正に関する件 3. 理事の選任に関する件 4. 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する 規程の一部改正に関する件 5. 役員報酬額に関する件	全会一致で承認又は可決

評議員の名簿については〔別表（10）〕のとおり

3. 各種委員会

(2) 評議員選定委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第2回) 2017年11月14日	1. 評議員の選任について	1. 可決

(2) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第62回) 2017年8月18日	1. 2018年度笹川科学研究助成募集要項等の策定について 2. 電子申請について	1. 承認 2. 確認
(第63回) 2017年11月27日	1. 2018年度笹川科学研究助成 選考方針の策定について (1) 2018年度笹川科学研究助成「学術研究部門」選考方針の策定について (2) 2018年度笹川科学研究助成「実践研究部門」選考方針の策定について 2. 電子申請システムによる評価方法について	1. 承認 2. 確認
(第64回) 2018年2月8日	1. 2018年度笹川科学研究助成の選考結果の確認と振り返り (1) 選考結果について (2) 総評について (3) 電子申請システムの振り返りと今後について 2. 2018年度海外発表促進助成の募集および2018年度事業実施状況について	1. 確認 2. 承認

(3) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領 域	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
数物・工学系	2017年12月5日	2018年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について	承認
化学系	〃 12月7日		
生物(A)系	〃 12月15日		
生物(B)系	〃 12月11日		
複合系	〃 12月15日		
海洋・船舶科学系	〃 12月12日		
実践系	〃 12月5日		

領 域	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
人文・社会系	2018年1月19日	2018年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について	承認
実践系	〃 1月30日		
人文・社会系	〃 3月1日	2017年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について	承認
数物・工学系	〃 2月27日		
化学系	〃 3月6日		
生物（A）系	〃 3月2日		
生物（B）系	〃 3月5日		
複合系	〃 2月28日		
海洋・船舶科学系	〃 2月26日		
実践系	〃 3月16日		

(4) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
(第2回) 2017年6月9日	1. 2017年度サイエンスメンター事業一次審査について 2. 2017年度二次審査について 3. その他	1. 承認 2. 承認 3. 確認
(第3回) 2018年1月12日	1. 2018年3月開催サイエンスメンターワークショップについて	1. 承認
(第4回) 2018年3月5日	1. 2018年度サイエンスメンター事業メンティ募集について 2. 募集要項・申請項目 3. 審査（1次・2次・3次）	1. 承認 2. 承認 3. 承認

4. その他重要事項

(1) 日本財団

年月日	内容
2017年4月1日	日本財団と2017年度事業について助成契約を締結した。 「海洋・船舶科学研究助成」「科学振興のための研究助成と研究交流」「教育・研究図書有効活用プロジェクトの実施」「基盤整備」(海洋・公益)
2017年6月2日	2017年度における笹川科学活性化基金の一部取り崩しの承認を受けた。

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
1	人文・社会	阿利 よし乃	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科	非常勤教員	社会変化と「わいせつ」農家の生活実践に関する民俗学的研究—沖縄県八重山諸島波照間島の事例—	300,000
2	人文・社会	丸山 友美	法政大学大学院社会学研究科社会学専攻	博士後期課程 3年	放送「アカイブ」を活用したドキュメンタリー表現にかんするメディア論的研究—JOBKの取り組みにみる「上方」放送文化と戦前・戦後に活躍した放送人の実践に着目して—	600,000
3	人文・社会	山本 沙希	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ジェンダー学際研究専攻	博士後期課程 3年	現代アメリカ都市部における女性零細事業主の商戦術と家族的地位に関する研究—有償家内労働者のネットワーク利用に着目して—	650,000
4	人文・社会	村田 圭代	東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻	博士後期課程 4年	J.S.バッハと三重対位法—転回技術の厳格さを通して見る作曲技法の発展	600,000
5	人文・社会	工藤 さくら	東北大学大学院文学研究科	博士後期課程 3年	パタールにおけるテラウ・アグ・仏教の展開と初ル女性	650,000
6	人文・社会	坂田 有実	名古屋大学大学院生命農学研究科生物圏資源学専攻	博士課程1年	先住民の権利保護と森林保全の視点からみるインドネシア慣習林の可能性	600,000
7	人文・社会	辻 慎一郎	東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻建築研究領域	博士後期課程 4年	近代能楽堂の客席空間に関する研究—観客席の領域区分の形成過程に着目して—	350,000
8	人文・社会	有間 梨絵	東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻教職開発コース	博士課程1年	養護教諭、坂口せつ子のからだの学習を中心とする教育実践の創造—子どもへのまなざしに着目して—	160,000
9	人文・社会	山本 みなみ	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻	博士後期課程 3年	鎌倉幕府執権政治の再検討—『吾妻鏡』の史料批判を通して—	500,000
10	人文・社会	畑 有紀	名古屋大学大学院人文学研究科	博士研究員	江戸文芸にみる医学と身体論—人体の“擬人化”を中心に—	350,000
11	人文・社会	鈴木 麻菜美	国立音楽大学大学院音楽研究科音楽研究専攻	博士後期課程 3年	宗教的マソンの「アソボラ」による社会的環境の変化と音楽文化への影響に関する研究—イスタム教神秘主義「アグワイ」派のオーストリアにおける事例	450,000
12	人文・社会	横塚 彩	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻	博士課程4年	大型類人猿「ボノボ」に対する住民意識の多義化—コンゴ民主共和国民族集団「カンゴ」の「ボノボ」に対する食物禁忌とその変容に着目して—	800,000
13	人文・社会	五賀 友継	筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻	博士後期課程 1年	日本統治下の台湾における弓道の伝播と受容に関する研究—近代弓道の海外展開と台湾社会に果たした役割に着目して—	700,000
14	人文・社会	平澤 悠	北海道大学アイヌ・先住民研究センター	博士研究員	内陸アサカ細石刃石器群の形態学的研究	350,000
15	人文・社会	太田 多聞	筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻	博士後期課程 3年	エアドールにおける連帯経済の受容過程に関する人類学的研究—中部メキシコ地域のコミュニティ・バスケットを事例として—	650,000
16	人文・社会	金指 有里佳	日本女子大学大学院人間生活学研究科生活環境学専攻	博士後期課程 2年	ひとり親世帯の居住支援の課題に関する研究—母子生活支援施設退所後の住宅確保の支援のあり方について—	100,590
17	人文・社会	門間 卓也	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	博士課程3年	アラブ独立国の教育政策を通じたナショナリズムの急進化—大学生層による超国家主義に基づく「軍団化」に注目して—	550,000
18	人文・社会	飯島 孝良	東京大学大学院人文社会科学系研究科基礎文化専攻(宗教学宗教史学専門分野)	博士課程4年	一休の「像」と二十世紀—日本禅文化論は「伝統」と「近代」を如何に語ったのか—	900,000
19	人文・社会	NICHOLAS PEETERS	早稲田大学大学院政治学研究科	博士後期課程 2年	戦後日本の国際経済社会への復帰と国際経済機関:日本の経済協力開発機構(OECD)への加盟問題と日欧米関係,1961-1964	500,000
20	人文・社会	沈 雨香	早稲田大学大学院教育学研究科	博士後期課程 4年	中東GCC諸国における女性の高学歴化と社会変動—東アジアと中東GCC諸国の比較の視点から—	700,000
21	人文・社会	井上 恭平	総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻	博士後期課程 3年	先史メソポタミア平原における社会動態の考古学的研究—生態環境の改変と複雑社会の視点から—	0

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表（一般科学研究）

(単位：円)

No.	審査区分：名称	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	助成金額
22	人文・社会	野口 舞子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科比較社会文化学専攻	博士後期課程3年	前近代西方イスラム世界における説教と民衆—カーティーン・イブドの説教集写本の分析を通じて	690,294
23	人文・社会	花 暁波	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科グローバル地域研究専攻	博士課程4年	中国とASEANの跨境域における土地利用変化と地域住民の生業転換に関する研究	600,000
24	人文・社会	柊澤 利也	早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻	博士後期課程1年	進路多様高校における若者自立支援のための校内組織に関する研究—教員、ソーシャルワーカー、カウンセラーの連携—	150,000
25	人文・社会	正井 佐知	大阪大学人間科学研究科社会環境学講座文化社会学	博士後期課程3年	障害者施設における投票参加とその支援に関する研究	120,768
26	人文・社会	松尾 俊輔	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	博士課程3年	20世紀初頭ウグアイにおけるスポーツ政策に関する政治思想史的研究(1911-1933)—国家と社会との関係性をめぐる共和主義の観点から—	675,568
27	人文・社会	小林 舞	総合地球環境学研究所	プロジェクト研究員	ブータン西部における有機農業政策への小農の適応：森林資源利用の時空間的変遷の復元という観点から	800,000
28	人文・社会	藤川 桐人	京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程日本音楽研究専攻	修士課程2年	民俗芸能の稚児舞における能管と打楽器の利用についての音楽分析—能楽の影響を受けた祇園祭系統の祭礼及び地方伝統芸能の舞楽を中心として—	300,000
29	人文・社会	鈴木 昂太	総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻	博士後期課程5年	広島県山間地域における民間宗教の歴史と民俗、及びその文化財化の研究	350,000
30	人文・社会	阿由葉 大生	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻	博士後期課程4年	リスクと保険の人類学：インドネシアにおける国民健康保険の形成過程	600,000
31	人文・社会	明地 洋典	東京大学こころの多様性と適応の統合的研究機構	助教	自閉症者における社会的評価に関する認知科学的研究	650,000
32	人文・社会	宮本 佳和	神戸大学大学院国際文化科学研究科文化相関専攻	博士後期課程1年	共有資源管理を象徴的側面から問い直す—ナミビア北西部の野生動物保全地区の人類学的調査研究	600,000
33	人文・社会	大谷 琢磨	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻	博士課程3年	アフリカ都市部における若者のセーフティネット構築に関する研究—カンダのバクタクシ協会を事例に—	450,000
34	人文・社会	斎藤 俊介	首都大学東京大学院人文科学研究科社会行動学専攻社会人類学教室	博士後期課程2年	ランナー主義の先鋭化—北部タイ平地社会におけるエスニック・ナショナリズムの生成過程にまつわる社会人類学的研究—	400,000
35	数物・工学	神野 崇馬	大阪大学基礎工学研究科システム創成専攻	博士課程1年	オンチップアンテナ実装に向けた、デジタル回路とアンテナ間に生じる相互インダクタンスと電磁波放射の影響による電磁ノイズ現象の物理的解明とその低減法の開発	480,000
36	数物・工学	長岡 誠也	三重大学大学院生物資源学研究科共生環境学専攻	博士後期課程1年	水中超音波を用いた農業用水路コンクリート表面凸凹測定技術の開発—地球10周分の水路の粗さ測定方法を変える—	670,000
37	数物・工学	奥原 俊	名古屋工業大学コレクティブ・インテリジェンス研究所	プロジェクト助教	音声によるグループ・エモーションが与える創発的なアイデア予測に関する探索的な研究	800,000
38	数物・工学	山本 竜大	九州大学人間環境学府空間システム専攻	博士後期課程2年	ESとCFDの連成手法のデータベース化に向けた基礎的研究	546,840
39	数物・工学	糠塚 元気	山形大学理工学研究科地球共生圏科学専攻	博士後期課程3年	偏極ドレム・ヤン実験による陽子の3次元構造の研究	490,000
40	数物・工学	BILGUUN BUYANTOGTOKH	横浜国立大学都市イノベーション学府	博士後期課程2年	ウランバートルにおける住宅の省エネルギーと自然エネルギー利用に関する研究	570,000
41	数物・工学	清水 麻里	芝浦工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻	修士課程2年	超音速フリージェットPVDによるナノ結晶窒化アルミニウム厚膜の開発	428,360
42	数物・工学	大塚 美緒子	埼玉大学大学院理工学研究科環境システム工学系専攻環境制御システムコース	博士前期課程2年	Biナノワイヤ熱電変換素子における巨大ゼータ効果の原理実証	800,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
43	数物・工学	三井 真吾	金沢大学先端科学・イノベーション推進機構	博士研究員	SOIビーム検出器を用いた高速X線硬さ試験機の開発	570,000
44	数物・工学	赤岩 和明	鳥取大学工学研究科	助教	コランダム構造酸化ガリウムによる低コスト高耐圧パワーマOSFETの実証	700,000
45	数物・工学	金田 佑哉	新潟大学大学院自然科学研究科数物物質科学専攻素粒子論研究室	博士後期課程3年	ミュー粒子の磁気能率に基づくレプトンセクターの新物理法則の解明	770,000
46	数物・工学	田中 賢一郎	奈良先端科学技術大学院大学	助教	Time-of-Flightカメラを用いた、光の時間的応答の違いに基づく半透明物体の材質と3次元形状の推定	700,000
47	数物・工学	端野 克哉	富山大学大学院理工学教育部新エネルギー科学専攻	博士課程2年	宇宙パリアン数生成を説明する物理モデルの構築と、加速器実験と重力波観測を用いた立体的検証	540,000
48	数物・工学	白方 光	北海道大学大学院理学院宇宙物理学専攻	博士後期課程2年	活動銀河核からの紫外線放射が宇宙初期の銀河形成・進化に与える影響についての理論的研究	575,256
49	数物・工学	羽田 真毅	岡山大学大学院自然科学研究科	助教	超高速電子線回折法を用いた水の構造解析・計測	800,000
50	数物・工学	鈴木 和也	東北大学原子分子材料科学高等研究機構	助教	磁性二次元アロイにおけるスピン軌道トルク効果の研究	760,000
51	数物・工学	夏目 ゆうの	日本女子大学理学部数物科学科	助教	生体膜モデルのトポロジー変化に対する熱・統計力学的アプローチ	700,000
52	数物・工学	田口 翔悟	大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻化学工学領域	博士後期課程2年	クロロフィルa修飾ポリソムの膜場特性に基づく配向制御および光エネルギー変換技術の開発	700,000
53	数物・工学	金川 哲也	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	助教	非線形波動論に基づく気泡流中の衝撃波の抑制技術への新展開	560,000
54	数物・工学	小田 哲也	岡山理科大学工学部情報工学科	助教	IoTネットワーク環境におけるコンテンツ・セトリック・ネットワークのための知的システムとテストベッドの実装	534,088
55	数物・工学	大竹 亜紗美	佐賀大学大学院工学系研究科システム創成学専攻	博士後期課程3年	機能性酸化グラフェン分散液の分散性の数値的評価装置の開発と分散挙動の解析	670,000
56	数物・工学	菊池 謙	名古屋大学大学院理学研究科素粒子・宇宙物理学専攻	博士後期課程3年	BV形式を用いたフーリエ方程式の導出	800,000
57	数物・工学	TRUONG HOANG ANH	東北大学医工学研究科医工学専攻	博士後期課程2年	単一細胞の測定を可能にするマイクロメーター空間分解能イメージセンサの開発	640,000
58	数物・工学	江口 光	総合研究大学院大学物理科学研究科宇宙科学専攻	博士課程4年	リリを利用した惑星表面移動システムの研究	774,681
59	数物・工学	神谷 奈々	京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻	博士後期課程1年	炭質物反射率および圧密試験を用いた前弧海盆の埋没深度と形成過程の解明	700,000
60	数物・工学	津田 真理子	富山県立大学大学院工学研究科知能デザイン工学専攻	修士課程1年	視覚障がい者を対象にしたタジブルなプログラミングツールに対する学習要素の拡張	550,000
61	数物・工学	根本 文也	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所	博士研究員	高荷重条件での基板表面吸着層とバルク液晶層の構造相関・ナノ構造と潤滑	405,506
62	数物・工学	岸 正敏	創価大学大学院工学研究科	博士後期課程3年	気体透過型バックリアクターを用いた微細藻類によるCO2回収プロセスの確立	750,000
63	数物・工学	馬場 ひかり	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻	博士前期課程1年	身体ゆらぎの非線形特性: FFTでは見えない情報を抽出する	610,000
64	数物・工学	齋藤 宏輝	筑波大学システム情報工学研究科構造エネルギー工学専攻	博士後期課程2年	外部磁場印加による溶射用ガラス流れの制御	250,000
65	数物・工学	藤井 里咲	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻	博士後期課程2年	大学内保育施設の整備計画に関する実態と保育空間の特性及び防災に関する研究	640,000
66	数物・工学	神谷 朋宏	岐阜大学大学院工学研究科生産開発システム工学	博士後期課程1年	高速流中へと噴霧された液体燃料の微粒化および空気との混合挙動の研究	700,000
67	化学	潘 創	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士後期課程2年	バナニエビ殻の赤色発現は何によって制御されているのか	650,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
68	化学	古場 百合恵	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻	博士後期課程 3年	3員環状置換アミノ酸のペプチドブレン構造あるいはヘリックス構造への影響	650,000
69	化学	松井 康哲	大阪府立大学大学院工学研究科	フェニオトラック助教	分子内三重項-三重項消滅を利用したフォトンアップコンバージョンの高効率化	650,000
70	化学	原田 慎吾	千葉大学大学院薬学研究院	助教	古典的Friedel-Crafts反応の新展開: 脱芳香化による複雑有機分子の直截的精密合成プロセスの開発	660,000
71	化学	市川 智大	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻薬品化学研究室	博士後期課程 2年	マイクロ波応用フロー式反応装置を利用したメタルからの連続的脱水素反応による水素製造法の開発と有機反応への応用	650,000
72	化学	中村 公昭	山口大学大学院理工学研究科物質工学系専攻	博士後期課程 3年	安価なアルカリ金属フッ化物を用いるアルキル臭化物またはホウフインの触媒的フッ素化反応開発	750,000
73	化学	藤田 将史	名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻	博士後期課程 3年	ヒトキタスな元素を用いるアルケン及びビアルキンの新規触媒的求電子的活性化手法の開発	650,000
74	化学	松本 泰治	東邦大学大学院理学研究科化学専攻地球化学教室	博士前期課程 2年	カンボジアにおける地下水と素汚染の解明: 鉄同位体からのアプローチ	630,000
75	化学	矢作 忠弘	日本大学薬学部生薬学研究室	助教	半夏の適正使用に向けた品質評価に関する研究	650,000
76	化学	PHAN THI HANG NGA	金沢大学大学院自然科学研究科物質化学専攻	博士後期課程 3年	パラジウム触媒による高効率のジカルボニル化反応の開発~金属塩の協働効果の追求~	650,000
77	化学	植竹 裕太	大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻	特任助教	新規PETプローブ開発を指向したモノフルオロアルケン類の自在合成法の開発	572,458
78	化学	大嶽 和久	筑波大学数理解物質科学研究科物性・分子工学専攻	博士後期課程 2年	藻類生産オイルを原料とした、新規化成品の創出	800,000
79	化学	齊藤 亮平	電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻	博士後期課程 2年	ヒト光イメージング実現に向けた新規生物発光反応の解明	650,000
80	化学	重田 安里寿	横浜国立大学工学府機能発現工学専攻	博士課程後期 3年	微生物型ドメインの分子構造解明を目指した全標識レナールの作製	900,000
81	化学	橋本 徹	横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門	助教	N-ヘテロ環状カルベンによる二酸化炭素の活性化を利用した固定化反応の開発	750,000
82	化学	劉 慶博	東邦大学薬学部	博士研究員	抗HIV活性天然物gnidimacrinの構造活性相関に関する研究	750,000
83	化学	富原 良平	東京大学大学院理学系研究科化学専攻	博士課程 2年	飛行管を用いた大気下における酸化金属クラスターの安定組成探索とその触媒活性調査	800,000
84	化学	前島 咲	岐阜薬科大学大学院薬学研究科創薬化学大講座合成薬品製造学研究室	修士課程 2年	可視光と典型元素の協奏的機能を利用する分子間結合形成反応の開発	650,000
85	化学	白田 初穂	筑波大学大学院数理解物質研究科ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻	博士後期課程 1年	リ脂質二重膜の曲げ弾性と張力が支配する膜内分子の電子エネルギー状態	800,000
86	化学	田中 将道	慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻	博士課程 1年	ボロン酸を用いた無保護糖アクセプターに対する位置・立体選択的1,2-cis- α -グリコシル化反応の開発	720,000
87	化学	川寄 亮祐	広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻	博士課程後期 1年	タンパク質天然変性領域を利用するドメイン間コミュニケーションを介した機能制御機構	650,000
88	化学	大石 雄基	富山大学医学薬学研究部(薬学)	助教	糖の定量ならびにDDSを指向した糖応答性人工チャネルの開発	650,000
89	化学	大滝 大樹	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子標的医学研究センター	助教	分子振動の非調和性をあらわに考慮した振動円偏光二色性スペクトルの計算法の開発	218,304
90	化学	大城 康輝	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻	修士課程 2年	南大東島星野洞における大気中 ^{222}Rn 濃度の特異変動に関する研究	437,654
91	化学	山本 雅納	長岡技術科学大学工学部	助教	自己修復機能を有する触媒による物質変換反応の実現	550,000
92	化学	岡 智絵美	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻	博士研究員	高性能熱輸送デバイス開発にむけた研究—磁性ナノ粒子の自己配向を利用した多孔体作製—	650,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分:名称	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	助成金額
93	化学	加 凱	奈良先端科学技術大学院大学・研究推進機構	博士研究員	動的形態変化を指向したバ イオマス高分子の合成とソフト界面への展開	750,000
94	化学	白井 香里	新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース	博士後期課程1年	超重元素ラッホニウム(Rf)の気相化学実験に向けた同族元素による基礎研究—石英カラム表面の塩素化によるカラム挙動変化の調査—	800,000
95	化学	林 千里	群馬大学大学院理工学府理工学専攻物質・生命理工学領域	博士後期課程1年	フルフルル二量体からの新規生分解性材料の創出	800,000
96	化学	津留崎 陽大	大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻	助教	ホスホルをベースとする含リ湾曲型バ イ共役分子の構築	650,000
97	化学	早瀬 元	東北大学学際科学フロンティア研究所	助教	シリコン組成をもつ柔軟マクロ塊状多孔体の耐寒性を利用した液体保持材料の開発	650,000
98	化学	宮川 直樹	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	修士課程2年	バ イオマス由来のフロンティアを主骨格とした新規バ イオエンジニアリングプラスチックの創成	650,000
99	化学	出町 歩	北里大学大学院薬学研究科	博士課程2年	天然由来二量体化合物 viioxanthin 生合成におけるカップリング酵素の同定及びその軸異性選択性の解析	671,834
100	化学	権藤 匠洋	京都大学化学研究所精密有機合成化学分野薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程1年	触媒制御によるホレン化合物に対する位置・エナンチオ選択的な反応の開発	550,000
101	化学	廣瀬 正典	大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻化学工学領域	博士後期課程3年	ベシクル『膜場』を活用した水系キラル自己触媒プロセスの開発	871,690
102	化学	浅原 時泰	大阪大学大学院工学研究科	特任准教授	金属配位能を有するアザフルレノ機能性材料の開発	560,000
103	化学	西川 雄貴	千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻	博士前期課程2年	ワロン微細気泡を用いた水溶性腐植物質を含む古代海水からの元素選択的分離	720,000
104	化学	渡邊 拓巳	信州大学大学院総合工学系研究科生命機能・フロンティア工学専攻	博士課程1年	ヒドロゲル微粒子存在下における油性モノマーの重合検討及び得られるナノコンポジットゲル微粒子の構造制御	750,000
105	化学	早川 麻美子	日本大学理工学部物質応用化学科	助手	太陽光を用いる炭素-炭素結合の形成に関する研究	650,000
106	化学	杖本 望	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生命理工学系専攻	博士課程2年	テトラフルオロスルファニル基を有する新規芳香族分子の創製と機能解析	750,000
107	化学	王 胤力	京都大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士課程3年	らせん不斉を利用する新規多機能性キラルNHC触媒の開発とその応用	650,000
108	化学	中島 音海	九州工業大学大学院情報工学府学際情報工学専攻生命情報工学分野	博士前期課程2年	疾患に関連する生体内の遊離心動態を量的・空間的に追跡するための新規バ イオプローブの開発	400,000
109	化学	橋本 征奈	神奈川大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士後期課程3年	紫外-極限的超短パルスレーザー光発生装置の構築と分子間光反応過程の直接計測への応用	400,000
110	化学	浅見 祐也	学習院大学理学部化学科	助教	ボトムアップ型の核酸分子デザインに基づく新たな非線形光学バ イオマーカーの創製	650,000
111	生物	美辺 詩織	東京大学大学院農学生命科学研究科	特任助教	繁殖機能の制御に関わる脳内グルコースセンシングメカニズムの解明	820,000
112	生物	鈴木 由希	奈良県立医科大学医学部微生物感染症学講座	博士課程2年	カルバペネム耐性遺伝子の拡散機構の解明ならびに耐性菌蔓延防止策の構築	600,000
113	生物	小谷 友理	国立遺伝学研究所個体遺伝研究系初期発生研究部門	特任研究員	ゼブラフィッシュを用いた恐怖条件付け学習に必要な脳領域の遺伝学的研究	740,000
114	生物	小島 理恵子	山形大学理学部物質生命化学科	助教	ワカメ細胞外マトリックスにおける脂質輸送因子の同定と機能解明	647,065
115	生物	森中 初音	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	トリアセチルアセチル系を用いた不定芽形成初期過程の解析	740,000
116	生物	織田 麻衣	長浜バイオ大学	特別任用助手	脊椎動物 TRPA1 の高温感受性の分子機構に関する研究	760,000
117	生物	菊地 亜紀	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	博士前期課程2年	細胞分化でみられる遺伝子発現の安定化状態の維持と解除の解析	650,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
118	生物	遠藤 智史	岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室	助教	SNPs が引き起こすアルド外還元酵素の構造異常と凝集化、疾患との関連性の物理化学的・生化学的解析	750,000
119	生物	笹井 晋作	大阪府立大学生命環境科学研究科応用生命科学専攻	博士前期課程 2年	北極域に生息するコウから分離された Pythium polare に見出された新奇卵菌ウイルスの同定	700,000
120	生物	毛利 奈津美	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系	博士後期課程 3年	紅藻シアニジン・オゾンにおける脂肪酸合成の解析	272,454
121	生物	中村 真男	東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科バイオニクス専攻	助教	受容体型リオンフォスファターゼの神経突起伸長メカニクス: 硫酸化糖鎖による制御	686,736
122	生物	芝野 誠二	埼玉大学理工学研究科生命科学系専攻	博士前期課程 2年	植物プロテオグリカン AGP の病害応答反応における役割	650,000
123	生物	羽立 薫	岐阜大学連合獣医学研究科(配属: 帯広畜産大学)	博士課程 2年	乳牛の血液ならびに乳中のオメガ3脂肪酸 (OPG) に関する研究	640,000
124	生物	竹見 祥大	埼玉大学理工学研究科生命科学系専攻	博士後期課程 2年	小型実験動物モデルを用いた精細胞を介した新たな遺伝子改変個体の作製	590,000
125	生物	大塚 祐太	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程 2年	青色光の方向に向く葉のねじれ運動 (strophism) の3次元定量解析	770,000
126	生物	三谷 塁一	信州大学先鋭領域融合研究群バイオメカニカル研究所	助教	脂肪組織の部位別アディポサイトカイン受容体 A1 の発現調節機構の解明	640,000
127	生物	李 宰勲	首都大学東京大学院理工学研究科生命科学専攻	博士後期課程 3年	APOA1 の膜コレステロール制御による BMP シグナル調整機構の解析	700,000
128	生物	川端 由子	九州大学大学院歯学府歯学専攻	博士課程 1年	エトリ口部組織における油脂の化学受容機構の解明	700,000
129	生物	工藤 恵理子	熊本大学エイズ学研究センター	特定事業研究員	HIV-1 潜伏感染成立に至る新たな分子機構の解明	600,000
130	生物	丹下 寛也	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染分子解析学	博士課程 2年	補体とミクログリアの制御によるプリオン病発症抑制の試み	700,000
131	生物	藤田 賢一	京都大学大学院生命科学研究科	研究員	ヒトにおける選択的 mRNA 核外輸送基盤解明のための構造生物学手法と新規標的 RNA 配列同定法の統合解析	700,000
132	生物	永井 裕子	立命館大学大学院薬学研究科薬学専攻	博士課程 3年	ヒト iPS 細胞膜に発現する糖鎖および糖タンパク質の構造および機能の解析—ヒト iPS 細胞膜由来ボトトカキンの Glycomics 研究	820,000
133	生物	大沼 耕平	甲南大学理工学部生物学科	博士研究員	初幼生の脳細胞系譜の完全解明	600,000
134	生物	菊田 真吾	茨城大学 農学部	助教	貯蔵害虫コクストモトキにおける摂食誘導因子および受容体の同定	650,000
135	生物	中田 一彰	日本大学大学院生物資源科学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程 2年	腸内細菌が誘導する microRNA による上皮細胞の機能調節とその機構	750,000
136	生物	HILDA MARDIANA PRATIWI	東京工業大学生命理工学院生命理工学系生命理工学コース	修士課程 2年	発生過程における位置情報の記憶のメカニズムへのアプローチ	830,000
137	生物	吉野 優樹	東北大学加齢医学研究所腫瘍生物学分野	助教	新たな中心体複製制御機構: BRCA1 の細胞内トランスクリプションによる核・中心体クロストーク	810,000
138	生物	苅田 憲人	奈良先端科学技術大学院大学バイオインフォマティクス研究科神経システム生物学研究室	博士前期課程 2年	一次繊毛の形成促進を介したトコサキエン酸による神経機能制御機構の解明	750,000
139	生物	石橋 美咲	神戸大学大学院農学研究科資源生命科学専攻	博士後期課程 1年	イコアルゲンシの低減化にむけたオキシン利用法の開発	820,000
140	生物	横山 智哉子	山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻	助教	モノクローナル抗体ショットガンアプローチ法を用いた腫瘍形成に関わる細胞接着因子の探索	650,000
141	生物	Nowrin Islam Amin	静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻生物学コース	修士課程 2年	マウス肝臓の成熟化と肝小葉構築における肝星細胞の役割の解明	750,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
142	生物	高塚 大知	奈良先端科学技術大学院大学・バイオインフォマティクス研究科	助教	エピジェネティック改変を利用したDNA倍加誘発による植物バイオマス増産	630,000
143	生物	田中 領	京都工芸繊維大学工芸科学研究所バイオテクノロジー専攻	博士後期課程2年	PCF局在化canoe mRNAの局在化及び翻訳制御に関わる因子の同定と機能解析	679,073
144	生物	上園 志織	京都大学霊長類研究所	特定研究員	霊長類の島皮質における感覚情報の統合と分散	670,000
145	生物	大杉 友之	東京大学大学院新領域創成科学研究科メカニカル情報生命専攻臨床ゲノム腫瘍学分野	博士課程3年	Wntシグナル経路により発現制御されるインターフェロン誘導タンパク質ファミリーの同定と機能解析	500,000
146	生物	寺井 佑介	島根大学大学院生物資源科学研究科	修士課程2年	植物抗酸化システム研究の新展開: 真のビタミンC再生機構の解明	710,000
147	生物	田原 緑	東京農工大学大学院連合農学研究科	博士課程2年	花卉でのRNA干渉経路の種特異性の解析	550,000
148	生物	高橋 直美	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻	博士後期課程3年	ワシントン高次嗅覚中枢脳内に内在するGABA作動性ニューロンのタイプ間機能解析	670,000
149	生物	佐藤 和昭	北里大学大学院獣医学研究科獣医内科学専攻	博士課程2年	豚の実験的ぶどう膜炎モデルにおける房水中の新規炎症性メディエーターの探究による病態形成機構の解明	670,000
150	生物	田草川 真理	京都大学大学院理学系研究科生物科学専攻植物学系植物分子遺伝学研究室	特定研究員	緑藻ケミカルバイオマスをを用いた母性遺伝の成立に寄与する構造タンパク質の制御機構の解析	650,000
151	生物	木矢 星歌	金沢大学理工研究域自然システム学系	博士研究員	昆虫の忌避行動を制御する神経回路メカニズムの解明—虫はなぜ虫よけスプレーを避けるのか?—	500,000
152	生物	権平 智	日本動物特殊診断株式会社	ポストドク	乳汁における常在細菌叢およびアミノ酸が乳腺炎の罹患率に及ぼす影響	700,000
153	生物	中澤 志織	名古屋大理学研究科附属臨海実験所	特任助教	海産無脊椎動物の精子細胞内に存在する未知の先体様構造の研究	700,000
154	生物	南雲 亜希子	北海道大学生命科学院生命システム科学コース	修士課程2年	植物の概日時計におけるポリA鎖を介した翻訳制御の役割	700,000
155	生物	長峯 啓佑	南九州大学環境園芸学部環境園芸学科	実験助手	カキミミは何をきっかけに蛹化を開始するか—新規昆虫成長制御剤開発に向けて—	750,000
156	生物	宮脇 慎吾	徳島大学先端酵素学研究科次世代酵素学研究領域エビゲノム動態学分野	助教	哺乳類の性決定における「母体」に関する研究	830,000
157	生物	名倉 京	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	無尾両生類における幽門形成機構の比較生物学的解析	550,000
158	生物	一戸 唱	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	眼科 フェロー (非常勤)	網膜視細胞におけるP2X7受容体の生理学的機能の解明	720,000
159	生物	池上 花奈	東京大学大学院理学系研究科	ポストドク研究員	脊椎動物において性成熟を誘起するGnRH1ニューロン活性化の神経内分泌メカニズムの解明	780,000
160	生物	人見 将也	九州大学大学院薬学府分子衛生薬学分野創薬科学専攻	修士課程2年	メチル水銀次世代毒性とその性差の機構解明に向けた新たな展開: グルコシルコイトの変動の意義	650,000
161	生物	水町 海斗	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士課程1年	アノコイタチウオ属魚類の分類学的研究	650,000
162	生物	廣瀬 未来	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	博士前期課程2年	房総半島南部におけるアライグマの行動圏・土地利用特性	520,000
163	生物	鹿毛 あずさ	東北大学	特任助教	数理と実験の循環で解き明かす微細藻類重力走性の生理的制御機構	700,000
164	生物	馬場 隆士	東京農工大学大学院連合農学研究科生物生産科学専攻植物生産科学大講座	博士後期課程3年	ツツジ科植物の菌根共生における進化を根の形態学的特性から考察する一個根の異質性に注目して—	580,000
165	生物	内田 葉子	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	修士課程2年	昆虫の捕食に対する植物の生活史適応—準絶滅危惧種ゴマシジミとカボノシロモコウの関係に着目して—	670,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
166	生物	SHARMIN SHISHIR	北海道大学大学院環境科学院環境起学専攻	博士課程2年	都市開発による攪乱が消滅危惧状態にある生態系および景観に与える影響の時空間的变化	580,000
167	生物	菅沼 啓輔	帯広畜産大学グローバルプロダクション研究センター	特任助教	接着と組織侵入から探る媾疫(こうえき)トリパソマの寄生適応戦略	740,000
168	生物	BLAY EMMANUEL AWUSAH	東京医科歯科大学医歯学総合研究科国際環境寄生虫病学	博士後期課程3年	マソウ住血吸虫の宿主体内侵入ステージにおけるエネルギー代謝に関する研究	700,000
169	生物	後田 ちひろ	京都府立医科大学大学院医学研究科統合医学専攻	博士課程3年	リポリンによる制御性T細胞活性化における分子機序の解明	650,000
170	生物	齋藤 史明	千葉大学大学院園芸学研究科環境園芸学専攻生物資源科学コース	博士前期課程1年	キカブリガニによる捕食者からの卵の保護に血縁認識が果たす役割の解明	500,000
171	生物	松下 浩也	東邦大学理学研究科生物学専攻	修士課程1年	鳥類の足の形の多様性が生み出される仕組みの解明〜オバシとカイツブリの弁足から探る〜	710,000
172	生物	佐藤 美桜里	弘前大学農学生命科学研究科生物学専攻	修士課程1年	植物における遺伝的非類似度と成長抑制効果	670,000
173	生物	安里 聖貴	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程1年	島嶼間におけるアオリイカ小型種の遺伝的分化の解明を目的とした集団遺伝学的研究	700,000
174	生物	Schaefer holger	京都大学大学院地球環境学舎地球環境学専攻	博士課程2年	森林炭素循環における菌根菌糸の役割〜アバスキューラ菌根菌糸の生産・枯死・分解プロセスの解明〜	750,000
175	生物	佐藤 臨	弘前大学農学生命科学部	機関研究員	ホタル科マドホタル属と陸生巻貝類における競争的共進化に関する研究	450,000
176	生物	李 哲揆	理化学研究所バクテリアセンター-微生物材料開発室	特別研究員	多様な環境から分離された細菌による安定したトマト青枯病発病抑止能の評価	750,000
177	生物	櫛田 優花	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻	修士課程2年	浅海性ワケメシ類の多様性および系統学	740,000
178	生物	今田 貴士	東京工業大学大学院生命理工学大学院生命理工学コース	修士課程2年	初期生命システムのようなタンパク質合成の正確性が低下した環境でも、合成されるタンパク質集団の平均的活性が高い遺伝子配列の特徴を探る	640,000
179	生物	守野 孔明	筑波大学生命環境系	助教	軟体動物腹足類における冠輪動物特異的Homeobox 遺伝子の進化史の解明	680,000
180	生物	升本 宙	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物学専攻	博士後期課程1年	菌類-藻類間相互作用機構の解明に向けたモデル共培養系の探索	750,000
181	生物	中山 凌	京都大学大学院理学研究科生物学専攻	博士後期課程3年	カサガイ類の幼生における着底基質の選好性の解明	530,000
182	生物	一色 真理子	東京大学大学院理学系研究科生物学専攻	博士課程1年	チンパンジーの精液はなぜ固まるのか—分子から考える社会構造の進化—	530,000
183	生物	伊藤 真	京都大学大学院理学研究科動物行動学研究室	博士後期課程4年	トナカイ属におけるメスの鳴き声の機能とその進化について	620,000
184	生物	田中 宏和	大阪市立大学理学研究科動物機能生態学研究室	博士奨励研究員	家族群形成から協力的な社会へ:カヌメ科魚類を用いた脊椎動物における協力社会の進化要因の特定と実験的検証	740,000
185	生物	NGUYEN NGOC THANH TAM	岐阜大学応用生物科学研究科生産環境科学専攻	博士前期課程2年	キノコアリの塚のサイズを決定する要因を探る—シロアリ塚の永続的な利用方法の確立を目指して	1,000,000
186	生物	酒居 千尋	東京農工大学生物システム応用科学府	博士課程1年	アリの多女王制進化との関連が示唆される内部共生ウイルスのゲノム解析	0
187	生物	三原 龍太郎	信州大学総合理工学研究科理学専攻	修士課程2年	異なる生態を保つキツネ3型における、集団遺伝解析	490,000
188	生物	嶋 秀明	昭和薬科大学	助教	和食固有食材「山菜」摂食による代謝変動の横断的解析	740,000
189	生物	早川 卓志	京都大学霊長類研究所ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)寄附研究部門	特定助教	哺乳類の味覚の進化的起源の解明を目的としたオーストラリア産有袋類・単孔類の味覚受容体の分子生態学研究	750,000
190	生物	北林 慶子	金沢大学自然科学研究科自然システム学専攻	博士後期課程2年	担子菌類子実体と菌食性動物の匂いコミュニケーション	550,000

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表（一般科学研究）

（単位：円）

No.	審査区分：名称	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	助成金額
191	生物	乾 智洋	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻昆虫生理学分野	博士後期課程1年	飛べない幼虫の幼体成熟：幼虫が幼虫を産む繁殖戦略の生理基盤	520,000
192	生物	山守 瑠奈	京都大学人間・環境学研究科	修士課程2年	クマの巣穴への住み込み共生—クマの巣穴における狭隘危険空間への適応—	740,000
193	生物	NINDITA YOSI	広島大学大学院先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻	博士研究員	染色体環状化変異株を利用した放線菌二次代謝生産・形態分化機構の包括的解析	580,000
194	生物	VERONICA MEDRANO ROMERO	筑波大学人間総合科学研究科生命システム医学専攻	博士課程4年	リステリア菌の新規ファゴソーム脱出メカニズム	600,000
195	生物	鎌田 泰斗	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻流域環境学コース	博士後期課程3年	冬眠動物と非冬眠動物の差異に係る生理システムに関する新しい知見—シマリス冬眠多型間におけるアポトーシスA1受容体を介した季節的な低体温誘導機構の比較—	500,000
196	生物	伊藤 岳	新潟大学理学部附属臨海実験所	博士前期課程2年	海産ガカイ科魚類の精子の形態と運動性の種間比較：交尾行動と精子競争が駆動する精子の進化	650,000
197	生物	諏訪内 悠介	日本医科大学代謝・栄養学分野	ポスト・ドクター	H2S産生酵素 3-mercaptopyruvate sulfurtransferase のH2S/H2Snの生成調節機構の解明	600,000
198	生物	川上 敬弘	兵庫県立大学大学院環境人間学研究所共生博物部門	博士前期課程2年	野外に定着した要注意外来種アマガキカサネの生息状況と生態に関する研究	415,749
199	生物	船本 大智	神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻	博士前期課程2年	釣鐘状花におけるガ類の花粉媒介：新たな送粉シフトロームの提唱	472,557
200	生物	渥美 圭佑	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻動物生態学コース	博士課程2年	乱婚性ウグイス3種でのオス・メスで同調した婚姻色は、交配前隔離としてはたらくのか？	660,000
201	生物	本郷 峻	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	教務補佐員	カマフラップ調査による野生マントリルの性的装飾進化メカニズムの解明	710,000
202	生物	福田 和也	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程2年	配偶システムと雌雄同体現象の多様化における生理的基盤の解明	700,000
203	複合	田村 知也	筑波大学大学院生命環境科学研究科地球進化科学専攻	博士後期課程2年	生物-岩石界面のナノスケール解析に基づく新たな土壌生成モデルの構築	650,000
204	複合	小泉 早苗	東京大学	特任研究員	天然鉱物粉末を用いた高配向細粒緻密多結晶体の創製	800,000
205	複合	西田 恭子	九州大学大学院薬学府創薬科学専攻分子衛生薬学分野	修士課程2年	環境汚染物質による脳の性分化障害の機構解明：ゴナドトロピン放出ホルモンに着目した解析	800,000
206	複合	田村 俊介	九州大学大学院システム情報科学府情報学専攻	博士後期課程1年	非侵襲的脳機能計測による音声カテゴリー知覚のメカニズムの検討：「音声知覚の運動理論」の観点から	700,000
207	複合	澁谷 和樹	明治大学大学院農学研究科農学専攻	博士後期課程1年	農作物の葉への霜害と凍害の判別手法の確立	625,179
208	複合	日下 葵	北海道大学大学院理学部自然史科学専攻	修士課程2年	中央海嶺玄武岩のマグマソース：オマンフォイトのマンテル部分における輝石岩の層構造の溶融について	366,133
209	複合	佐賀 洋介	国立精神・神経医療研究センター・モデル動物開発部	流動研究員	霊長類マウス脳梗塞モデルにおける運動障害回復メカニズムの解明	650,000
210	複合	中野 英樹	京都橘大学健康科学部理学療法学科	助教	高齢者の転倒に関わる脳・運動・認知・精神機能の統合的理解	600,000
211	複合	石田 開	情報通信研究機構電磁波研究所電磁環境研究室	研究員	医療施設におけるLED照明の安心・安全な導入と運用を目的とした電磁環境評価	650,000
212	複合	白井 亮洋	大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学系専攻応用化学分野	博士後期課程2年	“酸化グラフェン含有ナノ粒子”の開発と超高速医療診断デバイスへの展開	596,891

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
213	複合	大釜 典子	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年内科部	特任研究員	高齢者における気分障害の関連因子—脳画像解析を用いた検討—	687,706
214	複合	片山 裕美	県立広島大学総合学術研究科生命システム科学専攻	博士後期課程3年	液相原子状水素が関与する触媒反応のモデリングとその電気化学的挙動解析	800,000
215	複合	上原 拓也	農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用部門	任期付研究員	多様な性フェロモン分子を生み出す炭素鎖短縮メカニズムの解明—炭素鎖短縮酵素遺伝子の機能解析—	600,000
216	複合	大山 奈津子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻医薬品情報学分野	博士課程2年	外部刺激を利用した腎臓選択的遺伝子導入における組織内空間分布の評価とその制御	550,000
217	複合	吉村 久志	日本獣医生命科学大学獣医保健看護学応用部門病態病理学研究分野	助教	脳の悪性腫瘍の nestin 標的治療法の開発に向けた基盤研究	650,000
218	複合	武田 紘平	筑波大学体育系	特任助教	母親が実施する運動が子どもの骨格筋ミトコンドリアに与える影響	700,000
219	複合	佐々木 華	福岡大学大学院理学研究科	博士後期課程2年	石筍の年縞形成過程のモデリングに基づく新しい環境指標の確立に関する研究	650,000
220	複合	岩井 亮太	同志社大学大学院脳科学研究所発達加齢脳専攻神経分化再生部門	博士課程2年	脊椎動物の種間における神経分化様式の相違に着目した比較研究	800,000
221	複合	藤岡 春菜	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系	博士課程1年	働かないアリの出現・維持機構の解明—全個体識別トラッキングを用いた行動解析—	750,000
222	複合	高場 智博	明治大学大学院文学研究科地理学専攻	博士後期課程2年	伊吹山系池田山東麓および耳納山地北麓における土石流扇状地の地形発達史—土砂移動に寄与しうる断層運動の影響に着目して	800,000
223	複合	小泉 証夫	電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻	博士前期課程2年	in vivo パイロイメージングによる筋細胞内グルコース拡散の評価	600,000
224	複合	竹内 舞子	千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻	博士前期課程2年	森林から供給されるフルボ酸ミネラルが谷戸田の水稲と生態系に及ぼす影響評価	557,958
225	複合	羽田 裕貴	茨城大学大学院理工学研究科複雑システム科学専攻	博士後期課程2年	現代間氷期アホガとしての MIS19 の超高解像度古海洋環境復元	650,000
226	複合	井尻 哲也	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	助教	経頭蓋直流刺激による視覚運動制御機能への介入の即時的効果と長期的トレーニング効果の検証	650,000
227	複合	辻 翔都	同志社大学大学院生命医科学研究科医工・医情報学専攻	博士前期課程2年	細胞に優しい三次元組織体の構築手法の開発: レザ-ビームと高分子混雑効果の活用	700,000
228	複合	堀居 直希	立命館大学スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻	博士前期課程2年	サルコペニアの発症予防・改善に関わる新規分子メカニズムの解明	700,000
229	複合	富永 紘平	筑波大学生命環境科学研究科地球進化科学専攻	博士後期課程1年	プレート沈み込み帯におけるチャートの表層崩壊・再堆積過程の解明	757,643
230	複合	小島 翔	新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科	助手	機械的触覚刺激による介入が感覚機能および一次体性感覚野の興奮性に及ぼす影響	600,000
231	複合	浅山 久留美	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農学専攻	修士課程2年	高知県大豊町におけるゼンマイ栽培地の土壌環境評価と栽培適地マップの作成	542,630
232	複合	尾上 知佳	富山大学大学院医学薬学教育部(薬学)医療薬学研究室	博士前期課程2年	ヒトの成長・体格補正を考慮した臨床ファーマコトキシモデルによる感染症治療薬至適投与法の開発	650,000
233	複合	鈴木 美和	群馬大学大学院理工学府理工学専攻物質・生命理工学領域	博士後期課程3年	河川のマイクロプラスチックの分布状況とマイクロプラスチックによる生態系への影響調査	800,000
234	複合	千家 梨華	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻	博士前期課程2年	食物繊維摂取による発症部位別大腸がんの予防効果—メタ分析を用いた検討—	515,418
235	複合	小川 琴奈	京都大学理学研究科地球惑星専攻地質学鉱物学教室地球生物圏史分科	博士前期課程2年	生物活動は初生の堆積構造をどう変える?: ルール型格子モデルを用いたシミュレーション	592,429

[別表1]

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (一般科学研究)

(単位:円)

No.	審査区分: 名称	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
236	複合	松本 惇志	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	長鎖アルコールで生物作用が消失するカトワ現象の機構解明	700,000
237	複合	田上 瑠美	愛媛大学沿岸環境科学研究センター	特定研究員	水環境中に残留する生活関連化学物質の魚類への影響評価～動態学および動力学的機構の定量的解析～	800,000
238	複合	成田 和人	横浜国立大学大学院工学府ス	博士後期課程3年	油性溶媒を用いた in vitro 皮膚感作性試験の予測精度向上	700,000
239	複合	金 睿麟	千葉大学大学院園芸学研究科	博士後期課程2年	韓国伝統庭園「別墅」のGISを用いた領域分析と空間構成に関する研究—アジア庭園基礎研究—	750,000
240	複合	後藤 早希	熊本県立大学大学院環境共生学研究科環境共生学専攻	博士後期課程2年	乳酸エントを含む新規共重合ポリエステル [®] の生合成	560,000
241	複合	秋月 真一	創価大学理工学部	助教	微細藻類-硝化細菌共生プロセスによる窒素含有廃水の省エネルギー処理	550,000
242	複合	野口 里奈	東京工業大学理学院火山流体研究センター	研究員	最近の火星における火山活動と表層環境実態の解明—ハワイの巨大ルトレスコとの比較—	620,000
243	複合	小村 智美	奈良女子大学研究院生活環境科学系	助教	線虫(C. elegans)において乳酸菌に特異的な応答を示す遺伝子の抗腫瘍作用	630,000
244	複合	遠藤 達矢	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター植物研究室	研究員	モロコシが放つ昔なつかしい沖縄の香りを明らかにする	475,918
						153,945,430

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (実践研究)

(単位:円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	助成金額
1	一場 郁夫	印旛郡酒々井町教育委員会	教育ファシリテーター	アクティブ・ラーニングを導入した博物館学習の実践的研究—主体的・協働的な学習活動を展開する博物館活用の方法—	300,000
2	山本 まり子	お茶の水女子大学	非常勤講師	生徒自らの筆で自らの思いを情感豊かに表現するための授業づくり	380,000
3	桑原 桂	新潟医療福祉大学	講師	新生児聴覚検査が早期発見・早期支援に有効か否かを明らかにし、この問題解決に導く研究。	119,136
4	楠瀬 慶太	高知新聞社	記者	高知県における戦争資料の調査・データベース化	430,000
5	解良 優基	奈良教育大学	特任講師	「聴くスキル」への介入がアクティブ・ラーニングにおける学習効果へ及ぼす影響	272,808
6	小林 智穂子	NPO 法人サピオラント	事務局長	シニアの社会参加阻害要因の把握と促進のための実践研究	360,626
7	大野 美喜子	NPO 法人 Safe Kids Japan	理事	ベランダ 1000:STOP!〜子どものベランダからの転落事故〜	320,000
8	十亀 陽一郎	福島工業高等専門学校	特命助教	呼び覚ませ!福島高専の役目を終えた機材たち	400,000
9	申間 宗夫	宮崎県立宮崎工業高等学校	教諭	電子カルテ解析による高度教職実践の暗黙知の共有と活用	400,000
10	日江井 香弥子	丹誠塾	講師	科学コミュニケーションを活発にするためのツールの研究と開発〜静岡発、こどももおとなも楽しめるゲーム制作〜	190,000
11	羽村 太雅	国立天文台	広報普及員	遊休望遠鏡・星空案内人材と観望会開催希望者のマッチングシステム「そらの架け橋」構築と天文教育への効果の検証	430,000
12	高橋 大樹	特定非営利活動法人九州大学こころとそだちの相談室	事務局員	学校生活の適応に困難を抱える児童生徒への居場所活動や派遣活動を通じた多面的なサポートの試み	380,000
13	西村 健一	香川県立高松養護学校	教諭	3D プリンタを活用した肢体不自由児用のリジナル教材・支援具開発	350,000
14	土岐 文乃	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻	助教	限界集落における地域交流施設の持続的な運営のための研究—宮城県石巻市雄勝町波板地域交流センターを事例として—	306,867
15	高橋 美由紀	板橋中央看護専門学校	専任教員	玩具提供による短期入院児の行動変化—CBCL 結果から—	350,000
16	日高 啓太郎	SILAPFS	外部研究員	家庭教育における協調的学習環境デザインに関する研究—工学・理学教育を通じた今日的な家庭教育創造実践—	222,706
17	土肥 真人	一般財団法人エコロジカル・デモンstration財団	代表理事	自然と社会相互を連関させる「エコロジカル・デモンstration」の評価指標の構築—世田谷区のまちづくり活動団体の事例を通じて	320,000
18	東山(丹羽) 朋子	人間文化研究機構	特任助教	研究・社会教育・芸術領域の連携による学術映像アーカイブの(研究=活用) モデルの開発—「エンサイクロペディア・シネマトグラフィ」を題材として	350,000
19	小西 央郎	労働者健康安全機構 中国労災病院	小児科部長、児童虐待対策委員会委員長	生まれてくる子の幸せのために周産期からはじめる児童虐待防止対策 社会的ハリス妊娠およびその子どもを包括的に支援する多機関連携ネットワークの構築	350,087
20	岡崎 善弘	岡山大学教育学部	講師	子どもの読書活動を促進する実践的研究:ぬいぐるみお泊り会の効果	350,000
21	山本 晃	国立特別支援教育総合研究所	総括研究員	類似した副詞の手話表現に関する研究とタブレット教材の作成—聴覚特別支援学校における確かな知識を身につける授業を目指して—	400,000
22	磯部 ゆき江	公益社団法人日本図書館協会	事務局次長兼総務部長	公共図書館のگان情報サービスの課題—提供する資料・情報の視点から	330,000
23	笠間 友博	神奈川県立生命の星・地球博物館	主任研究員	剥ぎ取り標本作製体験を活用する教育プログラムの開発—地層・岩石学習深化をねらって—	291,373
24	日高 健一郎	大阪大学大学院国際公共政策研究科	招聘教授	「心の遺産」を展示構想の基盤とするルブル美術館分館滋賀誘致のための基礎調査研究	320,000
25	加藤 和歳	九州歴史資料館学芸調査室保存管理班	班長	旧庁舎・学校の空き教室を転用した書庫の保存環境を整備するための研究—ユーザーにとって真に意義のある図書資料やアーカイブの管理と利用の実現を目指して—	340,000
26	松本 育子	刈谷市美術館	館長代理(係長)	子どもの絵本体験を促進する活動支援に関する実践研究—大学・美術館・図書館・科学館の相互連携による新たな活動モデルを目指して—	320,000
27	藤川 和美	高知県牧野記念財団	研究員	ストップ the 外来植物!〜市民協働で防ぐ高知県の外来植物〜	410,441

[別表2]

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表（実践研究）

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	助成金額
28	藤崎 晴彦	横浜市立大学学術院 国際総合科学群人文 社会科学系経営科 学系	准教授	ニーズを喚起する新たな公立図書館サービスと運営評価基準の 構築：戦略管理との融合	0
29	鈴木 まほろ	岩手県立博物館	専門学芸員	市民と博物館の協働による地域植物相の解明	350,000
30	池澤 広美	ミュージアムパーク茨城県 自然博物館	首席学芸員	日本産サトウキビ類の分類学的研究と展示・教育普及活動へ の応用	320,000
					9,664,044

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (海洋・船舶科学研究)

(単位:円)

No.	助成者名	所属機関: 名称	所属機関: 職名	研究課題	助成金額
1	池上 隆仁	公益財団法人海洋生物環境研究所中央研究所海洋環境グループ	研究員	大型単細胞真核生物フェオカリアが炭素・ケイ素循環に果たす役割の定量評価: 2014-2016年西部北太平洋における時系列フラックス変動	826,077
2	伊藤 早織	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻	博士後期課程3年	現生造礁サンゴ骨格の古地震・古津波計としての有用性—地震・津波イベントがもたらすサンゴ礁環境の変化と造礁サンゴの応答の解明—	860,000
3	安田 直子	琉球大学理学部	ポストドク研究員	獲得褐虫藻の違いによるサンゴ幼生の細胞死と高温耐性	750,000
4	小平 翼	東京大学新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻	助教	GPS波浪・津波計搭載係留系に対する気象・海象条件の影響評価	650,000
5	西崎 ちひろ	東京海洋大学学術研究院海事システム工学部門	助教	運航ヒックデータによる船舶交通量を考慮した他船先行予測	700,000
6	片岡 智哉	東京理科大学理工学部土木工学科	助教	沿岸防災のための浅海域における広域・高分解能な沿岸波浪計測手法の開発	690,000
7	牛島 悠介	京都大学理学研究科	博士後期課程1年	熱フラックスの日変化が海洋表層混合層に与える影響の解明と日変化の混合を十分再現可能な混合層スキームの開発	600,000
8	平井 惇也	東京大学大気海洋研究所	助教	網羅的発現解析によるカイソ類の高温ストレスマーカーの探索	900,000
9	長谷川 隆真	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	博士研究員	国際水域「東シ海」のカンパチ初期生態の解明—仔稚魚の台湾から日本への輸送の可能性の検討—	720,000
10	齊藤 ひかり	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻海洋環境微生物学研究室	修士課程2年	水産無脊椎動物の体液に棲みつ়く特異な微生物群の生態と生理機能の解明	840,000
11	石橋 悠人	中央大学文学研究科	准教授	19世紀イギリス海軍の日本近海測量に関する歴史研究	768,005
12	高下 裕章	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	博士課程2年	日本海溝のプレート境界断層浅部域における変形履歴の解明: モデル実験によるアプローチ	590,000
13	LUANG-ON Jutarak	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士後期課程2年	タイ湾北部の赤潮の光学特性の研究	620,000
14	濱田 洋平	海洋研究開発機構高知コア研究所	研究員	断層活動史解明に向けた機械学習による微化石の自動鑑定への挑戦	710,000
15	五味 伸太郎	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	博士前期課程2年	カルマンフィルタを用いた網漁具制御に関する研究—水中形状の自在な設定を目指して—	335,871
16	竹内 清治	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	助教	アサリ稚貝生残に果たす砂礫底の役割の解明: アサリ殻色の隠蔽効果の観点から	630,000
17	藤 公博	九州大学大学院工学研究院海洋システム工学部門	助教	大深度係留用サクションアーカーに関する把駐力評価手法の構築	630,000
18	在間 雅輝	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農学専攻	修士課程2年	有機汚濁海域では未知微生物により猛毒が生態系が生み出されるのか?	810,000
19	尾形 瑞紀	京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験場	修士課程2年	海底堆積物を用いた環境DNA手法の開発と津波前後の魚類群集推定への応用	710,000
20	清水 栄里	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻	修士課程2年	マカソクラスト中の石英から解読する過去約2000万年間の風成塵変動	444,200
21	野坂 裕一	東海大学札幌キャンパス 生物学部海洋生物科学科	助教	小型海洋観測機器を搭載したマルチコプターによる沿岸海洋環境調査法の開発	800,000
22	阿部 泰人	北海道大学大学院水産科学研究院	助教	Aquariusを用いた北太平洋海面塩分変動に関する研究	615,200
23	山根 光夫	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	博士前期課程2年	CFD解析を用いた小型漁船のビルジキール設計に関する研究	601,827

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表 (海洋・船舶科学研究)

(単位:円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	助成金額
24	守谷 圭介	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 釧路水産試験場	研究職員	マサバの生食用冷凍商材に必要な品質基準の検討	640,000
25	中井 亮佑	産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門 生物資源情報基盤研究グループ	博士研究員	海洋に優占する新規7βリンゴ糖類の分離技術の開発	800,000
26	中島 悠	東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻	博士課程3年	海洋細菌が持つ3つの異なるトランスにおける pH 依存型「使い分け」仮説の証明	880,000
27	山内 洋紀	京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所	技術職員	黒潮流域の砂浜海岸に出現する仔稚魚類の利用様式の解明とその保全を目指して	230,000
28	松代 真琳	酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	博士課程1年	北海道に來遊するカイロの音響生態と日周期性回遊生態に関する研究	620,000
29	米田 翔太	神戸大学海事科学研究科	博士後期課程3年	係留強化による港湾停泊船舶の津波防災に関する研究	730,000
30	今城 匠	東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻	博士課程3年	日本海東縁海洋マシハドレト分布域におけるマシ生成古細菌の分離と群集構造解析	690,000
31	李 勃豊	北海道大学大学院 環境科学院 地球圏科学専攻	博士後期課程4年	北太平洋高緯度海域における海中人為的な全無機炭素循環の変動に関する研究:パラメトリゼーション技術の応用と海水中炭酸物質の準リアルタイムなモニタリングの展開	700,000
32	谷口 裕樹	神戸大学大学院 海事科学研究科	学術研究員	船舶の自律運航に向けた避航アルゴリズムの開発と模型船による検証実験	618,800
33	窪山 あずさ	東京大学農学生命科学研究科 水圏生物学専攻	博士課程1年	天然シロ資源量減少への真菌症、卵菌症の関与に関する研究	550,000
34	小玉 将史	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程1年	藻場の食物網に果たすコホビ類の役割の解明	700,000
35	和田 良太	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻	助教	深層学習を用いた超大水深掘削システムの挙動予測に関する研究	740,000
36	三木 涼平	宮崎大学大学院 農学工学総合研究科	博士後期課程3年	冷温帯性魚類の分布境界を決定する要因としての沿岸地形—九州沿岸をモデルとした検証	620,000
37	小田 沙織	鳥取大学大学院 工学研究科	助教	日本海由来天然 C1 資源を原料とするバイオフェイナリ基盤技術開発	538,959
38	夏池 真史	東京工業大学 環境・社会理工学院	研究員	沿岸域における大型藻類を対象とした鉄摂取機構の解明と溶存鉄の生物利用性の評価	720,000
39	増田 光弘	東京海洋大学 学術研究院 海洋工学系 海事システム工学部門	准教授	大規模な海洋空間利用に向けた効率的なアンカーの開発と把駐性能推定のための数値シミュレーション法の整備に関する研究	630,000
40	村上 裕一	北海道大学 公共政策大学院・法学部	准教授	船舶の安全・環境規制の実施過程研究から練る国際標準化戦略	700,000
41	藤井 由希子	第一薬科大学	講師	天然・人工由来生理活性物質の新規残留特性の解明	620,000
42	北村 政人	徳島大学大学院 先端技術科学教育部 知的力学システム専攻	博士前期課程2年	小規模海洋温度差発電用高性能熱電変換材料の研究	860,000
43	宇田川 伸吾	琉球大学理工学研究科 海洋自然科学専攻	修士課程2年	魚類の活動周期に影響を与える水圧情報伝達の脳内神経ネットワークの解明	904,026
44	Harvey Benjamin	筑波大学 下田臨海実験センター	助教	酸性化が引き起こす殻の溶解は巻貝の生存にとって脅威となるのか?	630,000
45	阿部 博和	岩手医科大学 教養教育センター 生物学科	助教	世界初事例となる特有の動物性セルロースに穿孔する生物の発見:多毛類未記載種による穿孔メカニズムの解明と分類学的検討	920,000
46	吉田 朋弘	鹿児島大学大学院 連合農学研究科	博士課程3年	テンジクダイ科カテンジクダイ属魚類の系統分類学的研究	900,000
47	頓所 史章	東京大学大学院 工学系研究科 システム創成学専攻	修士課程2年	コンテナ船用極厚鋼板プレス特性改善に寄与するき裂分岐制御技術の探索	710,000

[別表 3]

2017年度笹川科学研究助成 助成対象一覧表（海洋・船舶科学研究）

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	助成金額
48	脇谷 量子郎	中央大学研究開発機構	専任研究員	ニホウキ [®] とオウキ [®] の河川内分布機構の解明	620,000
49	黄 田 武	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻	博士課程 1 年	ワスキ [®] ンチャクの体内における褐虫藻の多様性と微環境に関する研究	830,000
50	曹 貞鉉	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科・応用生命科学専攻	博士後期課程 3 年	コマク [®] ロ仔稚魚の生残と成長を麹菌由来の消化酵素混合物およびタンパク質分解酵素前駆体の添加により改善する研究	830,000
					34,732,965

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
1	中田 聡	広島大学大学院理学研究科	教授	Dynamics Days Europe 2017	Characteristic motion of a self-organized object based on nonlinearity	228,656
2	中嶋 誠	大阪大学レーザーエネルギー学研究中心	准教授	Energy Material Nanotechnology (EMN) Meeting on Terahertz	Ultrafast control of macroscopic magnetization using by terahertz magnetic pulses	258,000
3	石田 洋平	北海道大学大学院工学研究科材料科学部門先進材料ハイブリッド工学研究室	助教	2017 The Energy Materials and Nanotechnology (EMN) Meeting on Surface and Interface	Supramolecular surface photochemistry of molecular self-assembly on 2D nanosurfaces	171,305
4	梅屋 潔	神戸大学大学院国際文化科学研究科文化相關専攻	教授	CASCA/IUAES2017 Conference in Ottawa (International Union of Anthropological and Ethnological Sciences (IUAES) and Canadian Anthropology Society (CASCA))	Mobility and as Its Rudiment: Some Religious Concepts of Nilotes	276,000
5	中瀬 由起子	京都大学放射線生物研究センターシステム生物学部門	特任助教	The 9th INTERNATIONAL FISSION YEAST MEETING	TSC signaling pathway and Pka1 cooperatively control expression of retrotransposon Tf2 under nitrogen starvation	235,950
6	三屋 史朗	名古屋大学大学院生命農学研究科循環資源学研究分野	講師	Plant Biology 2017	Identification of physiological traits of rice for improving the yield under salinized paddy fields using salt-tolerant Nona Bokra chromosome segment substitution lines with genetic background of salt-sensitive Koshihikari	230,000
7	下元 浩晃	愛媛大学大学院理工学研究科物質生命工学専攻	特任講師	253rd American Chemical Society National Meeting & Exposition	Advances in Pd-initiated polymerization of diazoacetates: From variety of functional groups, living polymerization system, to high stereoregularity	264,000
8	遠藤 俊子	京都橘大学	教授/看護学研究科長	31st ICM Triennial Congress 2017	The achievement of midwife clinical competencies delivery a cross-sectional study of beginner until 40 cases experience	289,700
9	戸丸 仁	千葉大学大学院理学研究科地球生命圏科学専攻地球科学コース	准教授	The Geological Society of America, 2017 Cordilleran Section Meeting	Source and accumulation of methane in gas hydrate deposit in Kumano Basin, Nankai Trough, Japan: Interpretations from 129I distribution in pore waters	174,000
10	勝本 之晶	福岡大学	准教授	2017 MRS spring meeting & exhibit	Micellization and Phase Separation of Poly(ethylene oxide)-Poly(propylene oxide) Alternating Multiblock Copolymers in Water	240,698
11	奥島 大	神戸芸術工科大学	研究員	2017 Annual Meeting of the American College of Sports Medicine	High Intensity Interval Training (HIT) Increases Muscle Deoxygenation During Ramp Incremental Exercise	252,000
12	難波 貴代	神奈川工科大学看護学部看護学科	教授	International Council of Nursing Congress 2017	Development of nursing program focused on co-dependency between primary caregivers and recipients of care in situations of elder abuse	260,000

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
13	萩原 啓実	桐蔭横浜大学	教授	44th European Calcified Tissue Society Congress (ECTS2017)	4-Hydroxyderricin inhibits osteoclast formation with attenuation of expression of RANKL mRNA	266,000
14	中潟 崇	順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科運動生理学研究室	助手	The American College of Sports Medicine	Energy Expenditure In Low-load Resistance Exercise With Slow Movement Using Body Mass Alone As Load	244,000
15	山形 高司	日本女子大学家政学部被服学科	助教	American College of Sports Medicine, 64th Annual Meeting	The Hypotensive Effects of Isometric Training are Associated with Decreasing Daytime Sleepiness in Young Women	216,000
16	林 拓志	東京農工大学工学研究院瀧山健研究室	特別研究員 (PD)	The 27th Annual Meeting of the Neural Control of Movement	Learning visuomotor maps through reconfiguration of motor primitives	300,000
17	藤田 直子	九州大学大学院芸術工学研究院環境デザイン部門	准教授	Green Infrastructure Conference, in Orvieto, Italy on April 2017.	Establish the green infrastructure and ecosystembased disaster risk reduction for the restoration efforts following the Kumamoto earthquake	138,000
18	上原 亮太	北海道大学創成研究機構	特任助教	Cold Spring Harbor Asia meeting Cilia and Centrosomes	Novel link between ploidy and centrosome homeostasis in mammalian somatic cells	187,999
19	吉田 二美	自然科学研究機構国立天文台国際連携室	専門研究職員	ASTERIODS, COMETS, METEORS 2017	Jupiter Trojans: New Insights into the Early Solar System	230,000
20	筒井 孝子	兵庫県立大学大学院経営研究科	教授	ICIC17 - 17th International Conference on Integrated Care	Development of quality indicator for adult day services towards promoting the community-based integrated care system in Japan	101,072
21	宮崎 彰	高知大学農林海洋科学部	准教授	The 9th Asian Crop Science Association Conference	Relationships between Kernel Quality of Appearance and Yield Characters in Japonica and Indica Rice Cultivars	142,000
22	安在 絵美	お茶の水女子大学	日本学術振興会特別研究員 (PD)	2017 Osteoarthritis Research Society International (OARSI) World Congress	FOOT POSTURE AND DYNAMIC FOOT FUNCTION IN PEOPLE WITH AND WITHOUT KNEE OSTEOARTHRITIS	220,000
23	青野 友哉	伊達市噴火湾文化研究所	学芸員	15th EAJS International Conference 2017	The Ainu Society and Graves in the 17th Century: Findings from the Documents of a Foreign Missionary and from a Recent Archaeological Research	226,000
24	高尾 賢一郎	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	日本学術振興会特別研究員 (PD)	International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, Commission on the Middle East Conference	Development of Hisba in Today's Muslim Society: "Religious Police" and its Scope of Operation	200,000
25	本田 歩美	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座	客員研究員	The International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) 21st World Congress Organizing Committee	The mediating role of sleep quality on well-being of working family caregivers	300,000
26	吉田 純	北里大学	講師	10th Liquids Matter Conference (Liquids 2017)	Helical induction in nematic liquid crystals by using chiral metal complexes	230,000

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
27	半田 直人	大阪大学総合 学術博物館	研究支 援推進 員	77th Annual meeting of the Society of Vertebrate Paleontology	A REVIEW OF JAPANESE PLEISTOCENE RHINOCEROTIDAE (MAMMALIA, PERISSODACTYLA) AND PALEOBIOGEOGRAPHICAL SIGNIFICANCE	230,000
28	大槻 毅	流通経済大学 スポーツ健康 科学部	教授	22nd Annual Congress of the European College of Sport Science	Habitual exercise decreases systolic blood pressure during low-intensity resistance exercise in healthy middle-aged and older individuals	206,000
29	谷本 裕樹	奈良先端科学 技術大学院 大学物質創成科 学研究科	助教	26th International Society of Heterocyclic Chemistry (ISHC) Congress	Nitrosoallenes: Inter- and Intramolecular Reaction for Heterocycles Synthesis by Their Strong Reactivities	172,000
30	佐野 恭平	白滝ジオパーク	技師	International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth's Interior (IAVCEI) 2017 Scientific Assembly	Oxidation state and outgassing process of obsidian lava inferred from microRaman spectroscopy	258,000
31	百田 武司	日本赤十字広 島看護大学看 護学部看護学 科老年看護学 領域	教授	The 2nd Asia-Pacific Nursing Research Conference	Effective non-pharmacological interventions for dementia as perceived by certified nurses in dementia nursing and senior dementia carers qualified in Japan	90,000
32	八木 百合 子	国立民族学博 物館グローバ ル現象研究部	機関研 究員	4º Congreso Latinoamericano y Caribeño de Ciencias Sociales (FLACSO)	Representación andina del pasado en una fiesta cusqueña: cambio de la imagen de la Virgen Natividad de la Almodena	268,812
33	井手 淳一 郎	九州大学持続 可能な社会の ための決断科 学センター	助教	9th International Symposium on Ecosystem Behavior (BIOGEMON 2017)	Comparisons of molecular species of dissolved organic matter in throughfall between conifer plantations and broad-leaved forests in western Japan	200,795
34	池田 茉莉	千葉工業大学 工学部教育セ ンター化学教 室	助教	12th International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry (ISMSC) in conjunction with ISACS: Challenges in Organic Materials & Supramolecular Chemistry	1) C-H...Cl- Hydrogen Bond in Solution and the Solid-State: HgCl ₂ Complexes with Cyclen-Based Cryptands	269,705
35	黒澤 昌志	名古屋大学大 学院工学研究 科物質科学専 攻	講師	36th Annual International Conference on Thermoelectrics	Synthesis of p- and n-type Ge _{1-x} Sn _x thin films toward new group- IV thermoelectric materials	299,422
36	松村 実生	愛知学院大学 薬学部薬化学 講座	助教	26th international symposium of heterocyclic chemistry congress	Synthesis of 2-arylquinoxaline via a triphenylstibane catalyzed oxidative cycloaddition of α- hydroxy ketones with 1,2-diamines	196,000
37	黒崎 陽平	長崎大学熱帯 医学研究所新 興感染症学分 野	助教	9th International Symposium on Filoviruses	Functional mutations in spike glycoprotein of Ebola virus associated with an increase in infection efficiency	284,463
38	佐藤 鋭一	神戸大学大学 教育推進機構	助教	IAVCEI2017 Scientific Assembly	Internal structure and magma ascent process of obsidian lavas in the south of Kamchatka Peninsula, Russia	240,000

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
39	南野 亮子	岐阜大学流域圏科学研究センター植生生態研究分野研究室	講師(研究機関研究員)	IUFRO WIND AND TREES CONFERENCE 2017 (8th International Conference on Wind and Trees)	Variation in susceptibility to wind along the trunk of an isolated Larix kaempferi tree	244,000
40	清水 郁郎	芝浦工業大学建築学部建築学科住環境計画研究室	教授	13th International Conference on Thai Studies "Globalized Thailand?" Connectivity, Conflict, and Conundrums of Thai Studies	Representation of Ethnic Identity Through Spatial Conservation of the House and the Dwelling in Northern Thailand	99,447
41	中澤 暦	福岡工業大学総合研究機構環境科学研究所	研究員	13th International Conference on Mercury as a Global pollutant	Mercury pollution and its risk originated from the ASGM mining activity in Mongolia	264,000
42	持田 浩治	慶応義塾大学経済学部生物学教室	助教	Behaviour 2017 (a joint meeting of the 35th International Ethological Conference (IEC) and the 2017 Summer Meeting of the Association for the Study of Animal Behaviour (ASAB))	Spatial and temporal instability of local biotic community mediate a form of aposematic defense	260,000
43	宇野 雄一	神戸大学大学院農学研究科資源生命科学専攻応用植物学講座	准教授	3rd International Strawberry Congress	Evaluation of strawberry as an inhibitor of recombinant human histidine decarboxylase activity	171,681
44	山田 英佑	総合研究大学院大学先導科学研究科生命共生体進化学専攻	特別研究員	The 77th Annual Meeting of the Society of Vertebrate Paleontology	Three Dimensional Microwear Analysis with ISO Surface Roughness Parameters for Exploring the Domesticated Pig in the Past	270,000
45	池田 暁彦	東京大学物性研究所	助教	International Conference on Strongly Correlated Electron System (SCES) 2017	(1)Quantum spin-crossover of correlated LaCoO ₃ : Possible manifestation of excitonic insulator at ultrahigh magnetic fields (2)Strain monitor at 100 MHz using fiber Bragg grating and optical filter applied for magnetostriction measurements under ultrahigh magnetic fields	300,000
46	兵藤 憲吾	龍谷大学理工学部物質化学科内田研究室	助教	International Symposium on Synthesis and Catalysis 2017	Bronsted Acid Catalyzed Nitrile Synthesis from Aldehydes via Transoximation under Mild Conditions	242,000
47	副島 久実	国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校水産流通経営学科	講師	Conference for MARE (Maritime Research)/Global Research Network for Small-Scale Fisheries TBTI(Too BIG To IGNORE)	Fisheries Women's Group in Japan: role and future perspective from past to present	288,000
48	増田 周子	関西大学文学部・文学研究科	教授	Japan: Pre-modern, Modern and Contemporary. A Return Trip from the East to the West.	The Battle of Imphal and Hino Ashihei's Literature	201,089

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
49	高津 翔平	岐阜県博物館 自然係	臨時主 事	Society of Vertebrate Paleontology 2017 77th Annual Meeting	Dinosaur Footprint Assemblage and its Gregarious Behavior from the Lower Cretaceous Khok Kruat Formation, Khorat Group, Northeastern Thailand	190,000
50	内山 武人	日本大学薬学 部有機化学研 究室	教授	19th European carbohydrate symposium	Efficient preparation of 1,5- anhydroalditol and synthesis of tellimagrandin I analog	160,000
51	新田 時也	東海大学熊本 キャンパス	准教授	2017年 南臺科技大学応用日 語系 国際シンポジウム	台湾綠色能源「地熱」之持續可能性・ 與日本之關係	46,000
52	武藤 望生	東海大学	特任講 師	10th Indo-Pacific Fish Conference	Comparative phylogeography of fishes in the South China Sea	280,000
53	門崎 学	一般財団法人 リモート・セ ンシング技術 センター	主任研 究員	American Geophysical Union 2017 Fall Meeting	Early Detection of Rapidly Developing Cumulus Area with Himawari-8	300,000
54	水田 賢志	長崎大学大学 院医歯薬学総 合研究科分子 標的医学研究 センター	助教	2nd Internationl Conference on Pharmaceutical Chemistry	Synthesis and Discovery of Highly Potent Agents, Trifluoromethyl Containing Heterocycles Against Influenza Virus	252,000
55	轟木 堅一 郎	静岡県立大学 薬学部	教授	46th International Symposium on High Performance Liquid Phase Separations and Related Techniques (HPLC2017, Jeju)	Bioanalysis of therapeutic monoclonal antibodies based on affinity purification and high- temperature HPLC	75,000
56	川島 尚宗	山口大学大学 情報機構埋蔵 文化財資料館	助教	2nd CONGRESS ON THE ANTHROPOLOGY OF SALT	The meaning of regional differences in salt pottery in the Jomon period, Japan	228,000
57	藤田 直子	秋田県立大学 生物資源科学 部生物生産科 学科	教授	2017 Starch Round Table	Manipulation of rice starch properties for diet food application.	96,000
58	塚田 千恵	名古屋大学 シンクロトロ ン光研究セン ター	特任助 教	11th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '17 (ALC '17)	Surface chemical states of gold nanoparticles prepared by solution plasma in CsCl aqueous solution	200,000
59	宇梶 裕	金沢大学理工 研究域物質化 学系	教授	IUPAC 13th International Conference on Novel Materials and their Synthesis (NMS-XIII)	Synthesis of Sterically Locked Phytochrome Chromophores Based on Oxidative Functionalization	111,000
60	善方 文太 郎	大阪医科大学 医学部 生命 科学講座 生 理学教室	助教	Neuroscience 2017	A double knockout zebrafish revealed distinctive regulations of nicotinic acetylcholine receptors in slow and fast muscles.	240,000
61	小林 雅人	横浜商科大学 商学部 観光 マネジメント 学科	学長・ 教授	The 17th French-Japanese Oceanography Symposium - COAST Bordeaux 2017-	On the local El Niño observed in Peru after the monster El Niño in 2017	166,000
62	石川 義宗	東洋美術学校	専任講 師	Re: Research - the 2017 International Association of Societies of Design Research (IASDR) Conference	Discourses on Japanese lifestyle in early modern design: A turning point from Westernization to modern design	224,000

2017年度海外発表促進助成 助成対象者一覧表

(単位：円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	助成金額
63	及川 大輔	大阪市立大学 大学院医学研究科分子病態学	講師	Keystone Symposia (Ubiquitin Signaling)	Characterization of a novel LUBAC inhibitor, HOIPIN-1.	260,132
64	伊地知 敬	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 日比谷研究室	特任研究員	The 2018 Ocean Sciences Meeting	Observed variations in turbulent mixing efficiency in the deep ocean	260,000
65	朴 チョン 玄	法政大学大学院経済学研究科	教授	EUROGEO 2018	Sustainable Regional Development Strategy for International Regional Innovation Systems in Asia: Case Studies of the Nanopia plan of Miryang city, Korea and the KSRP plan of Kitakyushu city, Japan	273,605
66	葛城(池田) 裕美	日本大学短期大学部食物栄養学科	准教授	The 16th Annual Hawaii International Conference on Education	DEVELOPMENT OF MENU RECIPES TO PREVENT MUSCLE WEAKNESS USING LOCAL INGREDIENTS OF MISHIMA CITY, SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN	232,000
67	前島 美保	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター	客員研究員	Twenty-Fourth Annual JSA Conference (Honolulu, Hawai'i)	Focusing on Sumo and Kabuki Performances since the Edo period	146,000
68	山崎 龍	昭和薬科大学薬品化学研究室	准教授	255th ACS National Meeting & Exposition	Conformational properties of N-vinyl and alkynyl substituted aromatic amides compounds	262,000
						14,938,531

2016年度笹川科学研究助成 奨励賞受賞者一覧表

整理番号	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称 (助成時点)	所属機関： 職名(助成 時点)	研究課題
1	人文・社会	茅根 由佳	女	日本	京都大学東南アジア研究所	連携研究員	新興民主主義国インドネシアにおける経済ナショナリズムの台頭 エネルギー政策の事例から
2	人文・社会	小泉 優莉菜	女	日本	神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科	博士後期課程3年	キリシタン弾圧期における宣教師の書簡に関する研究—潜伏下の宣教師は日本をどう見たか—
3	数物・工学	梁 正樹	男	韓国	埼玉大学理学部物理学科	博士研究員	非可換幾何学に基づくヒッグス模型の湯川相互作用の起源の探究
4	数物・工学	山崎 智也	男	日本	北海道大学低温科学研究所	学術研究員	フルイド反応 TEM を用いたタンパク質結晶化過程1分子“その場”観察
5	化学	川尻 貴大	男	日本	岐阜薬科大学大学院薬学研究科	博士課程1年	ストレスボールの衝突エネルギーを利用したメカケミカル反応
6	化学	今任 景一	男	日本	早稲田大学	助教	可逆的な化学反応に基づく繰り返し駆動可能な応力検知材料の開発
7	生物	清水 隆之	男	日本	東京工業大学大学院生命理工学研究科生体システム専攻	博士課程3年	生体機能を制御する新物質硫化水素の細胞内シグナル伝達の分子機構
8	生物	今井 裕之	男	日本	岩手大学大学院連合農学研究科寒冷圏生命システム学専攻	博士後期課程2年	HV5プロモーター機能解析から明らかにする青色光受容体クリプトクロムによる植物の低温応答制御機構の解明
9	生物	羽尾 周平	男	日本	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻	博士後期課程3年	トマトの雌蕊形成を制御する新規遺伝子の解析
10	生物	小蓄 圭太	男	日本	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋環境保全学専攻	博士前期課程2年	同時的雌雄同体キヌカグモ(ウツシ)における性的共食いの適応的意義の解明
11	複合	内田 義崇	男	日本	北海道大学大学院農学研究院連携研究部門	助教	北海道の異なる酪農経営法と栄養収支バランスの関連性調査—北海道スタイルの低環境負荷型酪農法の確立に向けて—
12	複合	小島 翔	男	日本	新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科	助手	受動的および能動的触覚刺激による介入が皮質脊髄路興奮性に及ぼす影響
13	海洋・船舶科学	小沢 匠	男	日本	海上技術安全研究所	研究員	新しい脆性破壊強度評価法の構築
14	海洋・船舶科学	畑 晴陵	男	日本	鹿児島大学大学院連合農学研究科農水圏資源環境科学専攻	博士課程1年	カクチイシ科タイワウイコイシ属魚類の分類学的研究
15	実践	服部 麻衣	女	日本	大阪くらしの今昔館(大阪市立住まいのミュージアム)	学芸員	大阪くらしの今昔館の町並み展示を活用した「和の住文化」体験プログラムの実践—外国人観光客と留学生に日本の住文化の魅力を伝えるために—
16	実践	梅村 信哉	男	日本	福井市自然史博物館	学芸員	絶滅危惧昆虫をテーマとした公民館向け簡易展示パックの開発～住民参加による絶滅危惧昆虫の分布調査をめざして～

2017年度教育・研究図書有効活用プロジェクト 図書寄贈実績表

(単位：冊)

No.	寄贈対象大学	2017年度			小計	累計	No.	寄贈対象大学	2017年度			小計	累計
		6月	9月	11月					6月	9月	11月		
1	南京大学		327		327	201,587	36	青海民族大学				0	0
2	江南大学				0	195,623	37	東北大学秦皇島分校	413			413	413
3	上海交通大学		149		149	74,450	38	清華大学	70		110	180	68,862
4	上海海事大学		253		253	81,039	39	北京大学	117		73	190	2,443
5	寧波大学	643	1,446		2,089	102,164	40	中国伝媒大学				0	172
6	蘭州大学	221	230		451	45,173	41	中国人民大学	109		100	209	237
7	貴州大学	570	164		734	202,316	42	中国社会科学院			17	17	6,237
8	雲南大学	503	1,102		1,605	180,676	43	中国農業大学				0	0
9	広西師範大学		60		60	109,696	44	国際贈書中心	80		250	330	22,388
10	吉林大学珠海学院	887	4,134		5,021	29,723	45	天津師範大学				0	35,351
11	哈爾濱医科大学	71		117	188	58,669	46	天津外国語大学	106		610	716	2,851
12	黒龍江大学	897		85	982	151,115	47	山東大学	311		44	355	10,909
13	黒龍江東方学院	135			135	181,784	48	山東大学(威海)	466		355	821	24,371
14	牡丹江医学院				0	46,134	49	中国海洋大学	529		986	1,515	9,052
15	齊齊哈爾大学				0	73,227	50	南陽理工学院				0	1,296
16	東北林業大学				0	76,933	51	西安外国語大学				0	0
17	鷄西大学				0	78,759	52	合肥学院				0	23,090
18	延辺大学	463		696	1,159	137,302	53	華東師範大学	94		13	107	31,644
19	吉林大学	177		87	264	221,774	54	上海師範大学	1,004		17	1,021	5,933
20	東北師範大学	4,615		1,149	5,764	7,116	55	上海外国語大学			1,702	1,702	1,702
21	東北師範大学人文学院	336		27	363	11,505	56	華東理工大学			302	302	302
22	長春師範大学	23			23	132,710	57	復旦大学				0	0
23	北華大学	1,155		221	1,376	4,994	58	浙江越秀外国語学院	6,533		1,774	8,307	29,942
24	中国医科大学	40		78	118	106,269	59	嘉興学院			1,306	1,306	1,306
25	大連外国語大学	2,875		1,855	4,730	385,643	60	西南政法大学				0	12,680
26	遼寧師範大学	111		205	316	49,812	61	四川外国語大学	209		56	265	4,989
27	大連医科大学	122		36	158	37,507	62	井岡山大学	2,580		1,530	4,110	7,502
28	大連海事大学	545		24	569	87,524	63	黄岡師範学院				0	3,541
29	大連理工大学	442		1,195	1,637	62,549	64	中南財經政法大学	129		66	195	1,070
30	遼寧対外経貿学院	149		89	238	24,238	65	華中師範大学				0	59
31	大連民族大学	1,409		280	1,689	59,708	66	武漢大学	2,066		196	2,262	7,158
32	瀋陽師範大学	141		613	754	26,360	67	湖南大学			793	793	793
33	渤海大学	4,299		1,422	5,721	86,148	68	雲南民族大学			27	27	27
34	内蒙古大学	737		918	1,655	6,562	69	雲南大学滇池学院				0	0
35	内蒙古師範大学				0	0		その他				0	43,769
寄贈合計冊数									36,382	7,865	19,424	63,671	3,696,878
収集合計冊数												153,000	4,133,000

2017年度立方体地球 出前講義開催一覧表

(学年は2017年4月現在)

No.	日付	実施機関 (場所)	対象	人数	講師 (敬称略)
1	6/9	麻生学園小学校	5～6年生	41	林 政彦
2	6/24	雲雀丘学園高等学校	1～3年生の希望者	34	寺田 健太郎
3	6/29	静岡市立高等学校	1年生	123	轡田 邦夫
4	7/16	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ	小学4年生～大人	133	須賀 利雄
5	7/18	愛媛県立松山南高等学校	1～3年生の希望者	50	寺尾 徹
6	7/31	少年少女科学体験スペース 0-Labo	小・中学生	30	乙部 直人
7	10/31	穎明館中学高等学校	中3～高2	570	今村 剛
8	11/10	八尾市立大正北小学校	理科クラブの4～6年生	30	佐々木 洋平
9	11/18	気仙沼市科学教育協会	小・中学生	80	須賀 利雄
10	12/16	境町立境第一中学校	2年生	130	神山 徹
11	1/18	中央大学附属高等学校	3年生	40	藤田 祐樹
12	2/6	佐賀県立武雄青陵中学校	3年生	120	山本 勝
13	2/11	はまぎんこども宇宙科学館	小学生 (洋光台サイエンスクラブ会員)、保護者	40	森 厚
14	2/17	はまぎんこども宇宙科学館	小学生 (洋光台サイエンスクラブ会員)、保護者	30	森 厚
15	3/8	名古屋経済大学市邨高等学校	1～2年生の希望者	28	立花 義裕

2017年度サイエンスメンター事業 研究一覧表

(学年は2017年4月現在)

No	氏名	学校名	性別	研究テーマ	学年	研究分野	メンター/アシスタント 氏名	所属先
1	伊藤平	名古屋大学教育学部 附属高等学校	男	人工衛星から見た地表の月影 の解析	2年生	地学	三浦裕一	名古屋大学非常勤講師
2	本坊優 吾	東海大学付属望星高 等学校	男	振動を用いた環境発電におけ る集音機構最適化に関する研 究	2年生	物理	中嶋宇史	東京理科大学理学部第一部応用物理学 科講師
							橋爪洋一郎	東京理科大学理学部第一部応用物理学 科助教
3	右田陽	攻玉社高等学校	男	冷却処理によるヤマトシジミ の斑紋異常	2年生	生物	加藤義臣	国際基督教大学名誉教授
4	池内明 香	愛媛県立今治西高等 学校	女	クマムシの乾眠導入と蘇生条 件に関する研究	2年生	生物	堀川大樹	慶応義塾大学先端生命科学研究所特任 講師
5	今井裕 来	東京都立戸山高等学 校	女	インクはなぜ変色してしまう のか、変色を防ぐ方法はある のか	1年生	化学	永澤明	埼玉大学名誉教授
6	沼尾侑 亮	攻玉社中学校	男	自然史標本としての標本の活 用	3年生	生物	川田伸一郎	国立科学博物館 動物研究部 脊椎動 物研究グループ 研究主幹
7	森岡旭 春	愛媛県立長浜高等学 校	女	刺胞動物の刺胞射出構造の解 明	2年生	生物	高田裕美	愛媛大学理学部 生物学科准教授
8	清水大 河	大阪府立長野北高等 学校	男	温泉の鉄で 茅渟(チヌ)の海 を復活させる ~温泉内の鉄が酸化して流れて いく前にクエン酸鉄にして、 大阪湾を豊かにする~	2年生	地学	中口譲	近畿大学工学部 理学科教授
							辻直樹	近畿大学大学院総合理工学研究科(院 生)
9	菅原篤 弥	宮城県古川黎明高等 学校	男	回折格子を用いた流星の分光 観測	1年生	地学	山本真行	高知工科大学 システム工学群教授
10	重松 楽々	愛媛県立長浜高等学 校	女	カクレマノミ体表粘液中の マグネシウムイオンは、どの ように高濃度な状態で保たれ ているのか	2年生	生物	高田裕美	愛媛大学理学部 生物学科准教授
11	飯田和 生	安田学園高等学校	男	セイヨウミツバチは人工甘味 料を飲むのか?	1年生	生物	岡田龍一	兵庫県立大学環境人間学部
12	原悠介	海城中学校	男	葛生地域に分布する苦灰岩層 の形成過程について	3年生	地学	奥村よほ子	佐野市葛生化石館 学芸員
13	鈴木泰 我	海城高等学校	男	東京都新宿区立おとめ山公園 内湧水周辺の地下水面及び地 下水の挙動の分析	2年生	地学	松山洋	首都大学東京 都市環境科学研究科 地 理環境科学
14	関翔	愛媛大学附属高等学 校	男	災害時の発電のための燃料電 池の開発	1年生	化学	板垣吉晃	愛媛大学大学院理工学研究科 物質生命工学専攻准教授
							得本悦司	愛媛大学大学院理工学研究科 物質生命工学専攻(院生)
15	石井辰 美	神奈川県立神奈川総 合高等学校	女	箱根火山について	2年生	地学	斎藤靖二	神奈川県立生命の星・地球博物館 名 誉館長
16	白土き くの	東京都立戸山高等学 校	女	アズマヒキガエルの分泌物か ら作る蟾酥(センソ)の危険性 について	1年生	生物	松井久実	麻布大学獣医学部生理学第1研究室講 師
17	大久保 和樹	鈴鹿工業高等専門学 校	男	量子力学に関する知見を深め る	4年生	物理	波田野彰	元東京大学教授
	17名	13校					メンター:17名、アシスタント:2名	

役員名簿

(2018年3月31日現在)

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
会長	非常勤	大島 美恵子	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	東北公益文科大学名誉教授 (生物化学)
常務理事	常勤	中村 健治	同	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	神奈川大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	高橋 正征	同	同	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学国際関係学部教授 (文化人類学)
同	同	山崎 壮	2016年 6月10日	同	実践女子大学生活科学部食生活 科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物 化学)
監事	非常勤	西本 克己	2012年 4月1日	業務執行等の監査	(株)東京ビー・エム・シー代表 取締役社長
同	同	菅井 明則	2016年 6月10日	同	(公財)笹川平和財団 常務理事

評議員名簿

(2018年3月31日現在)

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	梶 英輔	2012年 4月1日	決算の承認等	北里大学名誉教授(薬学、医薬品化学)
同	同	門野 泉	同	同	清泉女子大学名誉教授 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	梅干野 晁	同	同	放送大学客員教授 東京工業大学名誉教授 (都市建築環境工学)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科 生命環境科学系教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
同	同	今里 智晃	2016年 6月10日	同	広島大学名誉教授 (辞書学)
同	同	西原 祥子	同	同	創価大学理工学部共生創造理工 学科教授 (糖鎖生物学)
同	同	前野 隆司	同	同	慶應義塾大学大学院システムデ ザインマネジメント学科教授 (システムデザイン・マネジメ ント、ロボティクス、幸福学、 感動学、協創学等)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	日本財団 専務理事

2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2018年 5月16日

公益財団法人 日本科学協会
代表理事（会長） 大島 美恵子

2017年度事業報告は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

2018年 5月23日

公益財団法人 日本科学協会

監事 西本克己 印

監事 菅井明則 印